

**室蘭工業大学**  
**「平成24年度 卒業生アンケート」**  
**集計結果報告書**

平成24年12月



## 目 次

1. 調査の概要 .....	4
2. 調査結果の要約 .....	7
3. 調査集計結果 .....	10
問5. 卒業生の北海道在住割合 .....	10
問6. 大学時代のサークル活動への参加状況 .....	10
問7. 大学生活の充実度 .....	11
問8. 大学時代に学んだことや経験の現在の生活における貢献度 .....	12
問9. 在学中に身につけておくべき知識、スキル .....	13
問10. 自分の子供、身内に室蘭工業大学への進学を勧める意思の有無 .....	14
問11. 12. 室蘭工業大学進学を勧める理由・勧めない理由 .....	15
問13. これからの室蘭工業大学の教育に望む事項 .....	16
問14. 室蘭工業大学出身で「良かった」「良くなかった」と思うこと.....	17
問15. 卒業後のキャンパス訪問状況.....	17
問16. 卒業後にキャンパスを訪問した目的.....	18
問17. 同窓との継続的なネットワークの有無とその状況 .....	18
問18. 大学及び同窓会、記念事業等に対する寄付や献金の有無と今後の意向 .....	19
問19. 大学の情報に触れる媒体 .....	19
問20. ここ2～3年で目にした大学に関するニュース・話題(自由記述) .....	20
問21. 現在の勤務先の業種と会社内での職種、役職 .....	21
問22-1. 就職の形式(大学推薦か自由応募か) .....	22
問22-2. 就職時の大学サポートの満足度 .....	23
問22-3. 卒業時の就職先に関する満足度 .....	24
問23. 就職時に必要だったと思うサポートの内容 .....	25
問24. 勤務先での室蘭工業大学及び卒業生の評価 .....	27
問25. 転職の経験の有無と回数 .....	28
問26. 転職の主な理由 .....	28
問27. 新たな就職先を探した手段 .....	29
問28. 新たな就職先を紹介された知人との関係性 .....	30
問29. 本学が転職支援サービスを提供する場合に求めるサービス内容 .....	30
問30. 卒業生として室蘭工業大学に期待すること、意見・要望など .....	31
<参考>問 14. 室蘭工業大学出身で良かったと思う点、良くなかったと思う点(全文).....	35

# 1. 調査の概要

①実施時期：平成 24 年 7 月～8 月 31 日

②対象：室蘭工業大学 平成 14 年～21 年の卒業生 2,440 名

③回答・回収状況：260 票（回収率：10.7%）

④回答者内訳：回答者の内訳は下図表のとおり。尚、回収数を鑑み卒業生を平成 14～17 年と平成 18～21 年卒業生に区分し、必要に応じたクロス分析を行なった。

問1. 卒業（修了）した学科・専攻

		回答者数	合計	1. 建設システム工学科	2. 機械システム工学科	3. 情報工学科	4. 電気電子工学科	5. 材料物性工学科	6. 応用化学科	7. 機械システム工学科（夜間主）	8. 情報工学科（夜間主）	9. 電気電子工学科（夜間主）
全体		260 ( 100.0)	345 ( 132.7)	58 ( 22.3)	46 ( 17.7)	30 ( 11.5)	23 ( 8.8)	37 ( 14.2)	38 ( 14.6)	9 ( 3.5)	4 ( 1.5)	4 ( 1.5)
卒業年	1. 平成14年～平成17年	100 ( 100.0)	127 ( 127.0)	22 ( 22.0)	18 ( 18.0)	12 ( 12.0)	11 ( 11.0)	17 ( 17.0)	11 ( 11.0)	2 ( 2.0)	1 ( 1.0)	3 ( 3.0)
	2. 平成18年～平成21年	157 ( 100.0)	215 ( 136.9)	35 ( 22.3)	28 ( 17.8)	17 ( 10.8)	12 ( 7.6)	20 ( 12.7)	27 ( 17.2)	7 ( 4.5)	3 ( 1.9)	1 ( 0.6)
	3. 無回答	3 ( 100.0)	3 ( 100.0)	1 ( 33.3)	0 ( - )	1 ( 33.3)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
卒業学科・専攻	1. 昼間	153 ( 100.0)	153 ( 100.0)	42 ( 27.5)	31 ( 20.3)	23 ( 15.0)	12 ( 7.8)	24 ( 15.7)	21 ( 13.7)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
	2. 夜間	11 ( 100.0)	11 ( 100.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	7 ( 63.6)	2 ( 18.2)	2 ( 18.2)
	3. 大学院	91 ( 100.0)	176 ( 193.4)	16 ( 17.6)	15 ( 16.5)	7 ( 7.7)	11 ( 12.1)	13 ( 14.3)	17 ( 18.7)	2 ( 2.2)	2 ( 2.2)	2 ( 2.2)
	4. 無回答	5 ( 100.0)	5 ( 100.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )

		10. 建設システム工学専攻	11. 機械システム工学専攻	12. 情報工学専攻	13. 電気電子工学専攻	14. 材料物性工学専攻	15. 応用化学専攻	16. 無回答
全体		18 ( 6.9)	18 ( 6.9)	9 ( 3.5)	16 ( 6.2)	13 ( 5.0)	17 ( 6.5)	5 ( 1.9)
卒業年	1. 平成14年～平成17年	7 ( 7.0)	7 ( 7.0)	2 ( 2.0)	6 ( 6.0)	6 ( 6.0)	2 ( 2.0)	0 ( - )
	2. 平成18年～平成21年	11 ( 7.0)	11 ( 7.0)	7 ( 4.5)	10 ( 6.4)	7 ( 4.5)	15 ( 9.6)	4 ( 2.5)
	3. 無回答	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 33.3)
卒業学科・専攻	1. 昼間	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
	2. 夜間	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
	3. 大学院	18 ( 19.8)	18 ( 19.8)	9 ( 9.9)	16 ( 17.6)	13 ( 14.3)	17 ( 18.7)	0 ( - )
	4. 無回答	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	5 ( 100.0)

注：( )内はサンプル数を100とした割合

問2. いつ大学・大学院（修士）を卒業・修了しましたか（学部卒業、大学院前期（修士）修了の場合は両方）

		回答者数	合計	1. 平成14年	2. 平成15年	3. 平成16年	4. 平成17年	5. 平成18年	6. 平成19年	7. 平成20年	8. 平成21年	9. 無回答
全体		260 ( 100.0)	317 ( 121.9)	30 ( 11.5)	23 ( 8.8)	37 ( 14.2)	40 ( 15.4)	40 ( 15.4)	55 ( 21.2)	46 ( 17.7)	43 ( 16.5)	3 ( 1.2)
卒業年	1. 平成14年～平成17年	100 ( 100.0)	119 ( 119.0)	30 ( 30.0)	23 ( 23.0)	34 ( 34.0)	32 ( 32.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
	2. 平成18年～平成21年	157 ( 100.0)	195 ( 124.2)	0 ( - )	0 ( - )	3 ( 1.9)	8 ( 5.1)	40 ( 25.5)	55 ( 35.0)	46 ( 29.3)	43 ( 27.4)	0 ( - )
	3. 無回答	3 ( 100.0)	3 ( 100.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	3 ( 100.0)
卒業学科・専攻	1. 昼間	153 ( 100.0)	153 ( 100.0)	15 ( 9.8)	13 ( 8.5)	15 ( 9.8)	22 ( 14.4)	18 ( 11.8)	27 ( 17.6)	18 ( 11.8)	23 ( 15.0)	2 ( 1.3)
	2. 夜間	11 ( 100.0)	11 ( 100.0)	2 ( 18.2)	0 ( - )	2 ( 18.2)	1 ( 9.1)	1 ( 9.1)	3 ( 27.3)	2 ( 18.2)	0 ( - )	0 ( - )
	3. 大学院	91 ( 100.0)	147 ( 161.5)	13 ( 14.3)	10 ( 11.0)	20 ( 22.0)	17 ( 18.7)	20 ( 22.0)	24 ( 26.4)	24 ( 26.4)	19 ( 20.9)	0 ( - )
	4. 無回答	5 ( 100.0)	6 ( 120.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 20.0)	1 ( 20.0)	2 ( 40.0)	1 ( 20.0)	1 ( 20.0)

注：( )内はサンプル数を100とした割合

問3. 年齢（平成24年8月1日現在）

		合計	1. 25歳	2. 26歳	3. 27歳	4. 28歳	5. 29歳	6. 30歳	7. 31歳	8. 32歳	9. 33歳以上	10. 無回答
全体		260 ( 100.0)	15 ( 5.8)	27 ( 10.4)	29 ( 11.2)	46 ( 17.7)	43 ( 16.5)	24 ( 9.2)	25 ( 9.6)	20 ( 7.7)	31 ( 11.9)	0 ( - )
卒業年	1. 平成14年～平成17年	100 ( 100.0)	0 ( - )	1 ( 1.0)	0 ( - )	0 ( - )	12 ( 12.0)	18 ( 18.0)	18 ( 18.0)	20 ( 20.0)	31 ( 31.0)	0 ( - )
	2. 平成18年～平成21年	157 ( 100.0)	15 ( 9.6)	24 ( 15.3)	29 ( 18.5)	45 ( 28.7)	31 ( 19.7)	6 ( 3.8)	7 ( 4.5)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
	3. 無回答	3 ( 100.0)	0 ( - )	2 ( 66.7)	0 ( - )	1 ( 33.3)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
卒業学科・専攻	1. 昼間	153 ( 100.0)	10 ( 6.5)	18 ( 11.8)	19 ( 12.4)	25 ( 16.3)	26 ( 17.0)	18 ( 11.8)	11 ( 7.2)	9 ( 5.9)	17 ( 11.1)	0 ( - )
	2. 夜間	11 ( 100.0)	1 ( 9.1)	2 ( 18.2)	0 ( - )	3 ( 27.3)	0 ( - )	1 ( 9.1)	0 ( - )	1 ( 9.1)	3 ( 27.3)	0 ( - )
	3. 大学院	91 ( 100.0)	4 ( 4.4)	6 ( 6.6)	9 ( 9.9)	16 ( 17.6)	16 ( 17.6)	5 ( 5.5)	14 ( 15.4)	10 ( 11.0)	11 ( 12.1)	0 ( - )
	4. 無回答	5 ( 100.0)	0 ( - )	1 ( 20.0)	1 ( 20.0)	2 ( 40.0)	1 ( 20.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )

問4. 性別

		合計	1. 男性	2. 女性	3. 無回答
全体		260 ( 100.0)	228 ( 87.7)	32 ( 12.3)	0 ( - )
卒業年	1. 平成14年～平成17年	100 ( 100.0)	90 ( 90.0)	10 ( 10.0)	0 ( - )
	2. 平成18年～平成21年	157 ( 100.0)	135 ( 86.0)	22 ( 14.0)	0 ( - )
	3. 無回答	3 ( 100.0)	3 ( 100.0)	0 ( - )	0 ( - )
卒業学科・専攻	1. 昼間	153 ( 100.0)	131 ( 85.6)	22 ( 14.4)	0 ( - )
	2. 夜間	11 ( 100.0)	11 ( 100.0)	0 ( - )	0 ( - )
	3. 大学院	91 ( 100.0)	81 ( 89.0)	10 ( 11.0)	0 ( - )
	4. 無回答	5 ( 100.0)	5 ( 100.0)	0 ( - )	0 ( - )

問5. 現在お住まいの場所の都道府県名

	合計	1. 北海道	2. 青森県	3. 岩手県	4. 宮城県	5. 秋田県	6. 山形県	7. 福島県	8. 茨城県	9. 栃木県	10. 群馬県	11. 埼玉県	
全体	260 ( 100.0)	106 ( 40.8)	5 ( 1.9)	3 ( 1.2)	6 ( 2.3)	2 ( 0.8)	2 ( 0.8)	2 ( 0.8)	7 ( 2.7)	6 ( 2.3)	2 ( 0.8)	6 ( 2.3)	
卒業年	1. 平成14年～平成17年	100 ( 100.0)	51 ( 51.0)	2 ( 2.0)	1 ( 1.0)	4 ( 4.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	2 ( 2.0)	3 ( 3.0)	0 ( - )	3 ( 3.0)
	2. 平成18年～平成21年	157 ( 100.0)	55 ( 35.0)	3 ( 1.9)	2 ( 1.3)	2 ( 1.3)	2 ( 1.3)	2 ( 1.3)	1 ( 0.6)	5 ( 3.2)	3 ( 1.9)	2 ( 1.3)	3 ( 1.9)
	3. 無回答	3 ( 100.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 33.3)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
卒業学科・専攻	1. 昼間	153 ( 100.0)	76 ( 49.7)	4 ( 2.6)	3 ( 2.0)	3 ( 2.0)	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 0.7)	1 ( 0.7)	3 ( 2.0)	1 ( 0.7)	2 ( 1.3)
	2. 夜間	11 ( 100.0)	6 ( 54.5)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 9.1)	0 ( - )
	3. 大学院	91 ( 100.0)	23 ( 25.3)	1 ( 1.1)	0 ( - )	3 ( 3.3)	1 ( 1.1)	2 ( 2.2)	1 ( 1.1)	6 ( 6.6)	3 ( 3.3)	0 ( - )	4 ( 4.4)
	4. 無回答	5 ( 100.0)	1 ( 20.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 20.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )

	12. 千葉県	13. 東京都	14. 神奈川県	15. 新潟県	16. 石川県	17. 長野県	18. 岐阜県	19. 静岡県	20. 愛知県	21. 三重県	22. 滋賀県	23. 京都府
全体	11 ( 4.2)	26 ( 10.0)	20 ( 7.7)	1 ( 0.4)	1 ( 0.4)	2 ( 0.8)	3 ( 1.2)	7 ( 2.7)	13 ( 5.0)	3 ( 1.2)	1 ( 0.4)	1 ( 0.4)
卒業年	1. 平成14年～平成17年	4 ( 4.0)	9 ( 9.0)	3 ( 3.0)	1 ( 1.0)	0 ( - )	1 ( 1.0)	0 ( - )	1 ( 1.0)	6 ( 6.0)	2 ( 2.0)	1 ( 1.0)
	2. 平成18年～平成21年	7 ( 4.5)	16 ( 10.2)	17 ( 10.8)	0 ( - )	1 ( 0.6)	1 ( 0.6)	3 ( 1.9)	6 ( 3.8)	7 ( 4.5)	1 ( 0.6)	0 ( - )
	3. 無回答	0 ( - )	1 ( 33.3)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
卒業学科・専攻	1. 昼間	8 ( 5.2)	13 ( 8.5)	9 ( 5.9)	0 ( - )	1 ( 0.7)	0 ( - )	1 ( 0.7)	6 ( 3.9)	8 ( 5.2)	3 ( 2.0)	0 ( - )
	2. 夜間	0 ( - )	1 ( 9.1)	1 ( 9.1)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( 9.1)	1 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
	3. 大学院	3 ( 3.3)	11 ( 12.1)	10 ( 11.0)	1 ( 1.1)	0 ( - )	2 ( 2.2)	2 ( 2.2)	1 ( 1.1)	4 ( 4.4)	0 ( - )	1 ( 1.1)
	4. 無回答	0 ( - )	1 ( 20.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )

	24. 大阪府	25. 兵庫県	26. 和歌山県	27. 島根県	28. 岡山県	29. 広島県	30. 山口県	31. 鳥取県	32. 福岡県	33. 外国	34. 無回答
全体	5 ( 1.9)	7 ( 2.7)	1 ( 0.4)	1 ( 0.4)	2 ( 0.8)	2 ( 0.8)	2 ( 0.8)	0 ( - )	1 ( 0.4)	3 ( 1.2)	0 ( - )
卒業年	1. 平成14年～平成17年	2 ( 2.0)	2 ( 2.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( 1.0)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
	2. 平成18年～平成21年	3 ( 1.9)	5 ( 3.2)	1 ( 0.6)	1 ( 0.6)	2 ( 1.3)	2 ( 1.3)	0 ( - )	1 ( 0.6)	3 ( 1.9)	0 ( - )
	3. 無回答	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 33.3)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
卒業学科・専攻	1. 昼間	2 ( 1.3)	3 ( 2.0)	0 ( - )	0 ( - )	2 ( 1.3)	2 ( 1.3)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 0.7)
	2. 夜間	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 9.1)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
	3. 大学院	3 ( 3.3)	4 ( 4.4)	1 ( 1.1)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 1.1)	0 ( 1.1)	1 ( 1.1)	0 ( - )
	4. 無回答	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 20.0)	0 ( - )	0 ( 20.0)	0 ( - )

注: ( )内はサンプル数を100とした割合

## 2. 調査結果の要約

- 平成 24 年度調査対象卒業生（以下：「卒業生」と記す）の北海道在籍割合は 40.8%となっており、過去の調査と比較すると北海道在住割合は減少している。（問 5）
- 卒業生の学生時代は 63.8%がクラブや・サークルに所属していて、振り返ってみると 80.4%が学生時代の生活は全体として「非常に充実していた」または「充実していた」と回答している。（問 6、7）
- 大学時代に学んだことや経験の現在の生活における貢献度で、「非常に役立っている」「役立っている」を合せて、最も高いのは「アルバイト」65.7%、次いで「専門科目」64.4%、「クラブ・サークル活動」56.7%、「海外留学」50.0%となっている。（問 8）
- 卒業生が在学中にもっと学んだり修得しておきたかったのは「語学力」が 49.2%でトップ。（問 9）
- 自分の子供、身内に本学への進学を勧めたいと思っている卒業生の割合は全体で 50.8%。（問 10）
- 本学進学を勧める理由としては、「国立大学である」が 73.5%でトップ。その他「就職に有利」42.4%、「自分の母校だから」35.6%と続いている。  
逆に、進学を勧めない理由としては、「本人が決めることだから」70.1%が最も多い。（問 11、12）
- 卒業生が望む本学の教育内容・方向性については、「コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力のような一般的な能力を養うカリキュラム」46.5%、次いで「専門実務的な能力が身につくようなカリキュラム」45.8%、「技術者、研究者としての誇りや意欲を高め社会へ貢献できる人間を目指した教育」42.3%となっている。（問 13）
- 卒業生が本学出身で「良かったと思う点」で記載の多さが目立つのは、「入社した会社に先輩がいて心強かった。良くしてもらった」「友人、先輩に恵まれた。人脈が広がった」、「周囲からの評価、知名度が高い」、「就職に有利」、「国立大学である」等である。  
逆に良くなかった点としては、「（北海道以外では）知名度が低い」、「他校（ほかの大学・専門学校）や企業との接点が少なかった」、「対人能力を磨く機会が少なかった（プレゼン・ディベート・語学）」、「交通が不便、周囲になにもない」等が挙げられている。巻末に全文を掲載した。（問 14）

- 卒業後に1回以上キャンパスを訪れたことのある卒業生は、全体で70.4%。  
卒業後にキャンパスを訪問した目的としては、「ゼミの先生や仲間と会いに」が44.2%で最も多い。次いで「後輩のクラブ活動の指導で」10.0%、「大学祭・同窓会などで」5.4%の順になっている。(問15、16)
- 同窓との継続的なつながりを持っている卒業生は全体の73.8%。  
具体的なつながりとしては、「先輩・同期・後輩とのプライベートな繋がりがある」が59.2%で最も多く、次いで「クラブ・サークル・ゼミの集まりに参加している」17.3%となっている。(問17)
- 本学に寄付や献金をしたことがある卒業生は、全体の11.5%。「したことはないがしたい意思はある」者も全体の1割強程度存在する。(問18)
- 本学の情報に触れる主な媒体としては、「室蘭工業大学のホームページ」が58.8%と最も多い。これまでの調査と比較しても大きな変化は見られない。  
(問19)
- ここ2～3年で目にした大学に関するニュース・話題としては、自由記述で「女子寮の新築」「ジンギスカン鍋」「雪冷房・雪利用」「ロボット・航空技術」「ボルタ」ほか多くがあげられている。(問20)
- 卒業生の勤務先の業種としては、「製造業」30.8%がトップ。次いで「建設業」12.7%、「公務」12.7%、「情報通信業」10.8%となっている。  
社内での職種としては、「専門的・技術的職業従事者」が70.2%と圧倒的に多い。(問21)
- 卒業生が就職した際の形式は、「大学推薦」が全体の52.3%。就職時の大学側のサポートについて、「充分であった」「普通」の合計は全体で73.8%となっている。過去と比較して満足度の向上も認識される。(問22-1、問22-2)
- 卒業時の就職先についての満足度については、「大変満足だった」「概ね満足だった」を合わせて82.3%。<これまでの調査との比較>でみると、「大変満足だった」「概ね満足だった」を合わせた割合は、平成18年度調査70.0%が、平成21年度調査では77.0%に向上。さらに今回調査では82.3%となっており卒業生と企業とのマッチングが大きく向上していると言える。(問22-3)
- 就職時の大学側のサポートが「もの足りなかった」と回答した卒業生が考えるサポートの種類や項目は、「もっと多くの企業、団体等の紹介、情報提供をしてほしかった」が37.1%で最も多い。(問23)



- 勤務先における本学と卒業生に対する評価について、「非常に高い評価を受けていると感じる」「やや高い評価を受けていると感じる」を合わせた肯定回答の割合は、全体で 37.7%。これまでの調査と比較すると「普通である」という回答割合が増加している。(問 24)
- 転職経験のある卒業生の割合は、全体で 20.4%。平成 14～17 年卒業生で 32.0%、平成 18～21 年卒業生では 13.4%となっている。(問 25)
- 転職の主な理由として 20%以上の項目は 2 つで、「自分の可能性を追求してみたかった」37.7%、「他にやりたい仕事が見つかった」35.8%となっている。(問 26)
- 新たな就職先を探す手段としては、1 回目は「新聞、転職情報誌などの求人情報」が 22.6%で最も多く、次いで「ハローワークで紹介してもらった」18.9%、「民間の職業紹介所に登録し、紹介を受けた」15.1%となっている。(問 27)
- 新たな就職先を紹介された知人との関係性については「学生時代の友人」「取引先の知人」などに選択があったが母数は 9 名である。(問 28)
- 本学が卒業生に対して転職支援サービスを提供するとした場合に求めるサービス内容としては、「求人情報」が 64.6%で最も多く、「資格試験、公務員講座を開設し、卒業生にも開放してほしい」30.8%、「室蘭工業大学で行われる就職ガイダンス(面接試験の受け方などを含む)、企業セミナー等を、卒業生にも開放してほしい」21.5%の順になっている。(問 29)
- 卒業生として室蘭工業大学に期待すること、意見・要望などについては回答者 260 名の内 83 名から具体的な記述があった。大まかな分類の上、巻末に掲載した。(問 30)

以上

### 3. 調査集計結果

#### 問5. 卒業生の北海道在住割合

平成24年度調査対象卒業生(以下:「卒業生」と記す)の北海道在住割合は40.8%となっており、過去の調査と比較すると北海道在住割合は減少している。

尚、卒業生で北海道以外の在住者が5%を超えるのは、以下の図表のとおり東京都10.0%、神奈川県7.7%、愛知県5.0%となっている。

問5. 現在お住まいの場所の都道府県名

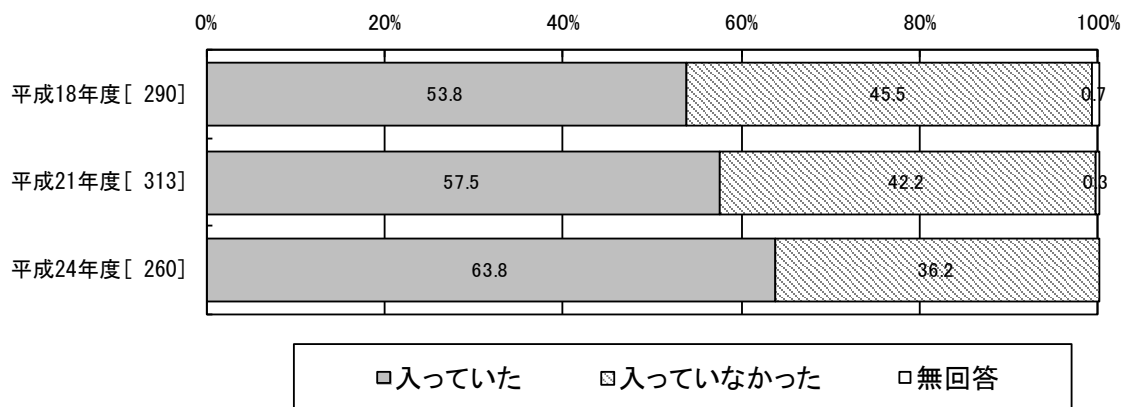
		合計	北海道	東京都	神奈川県	愛知県
全体		863	394	74	69	35
		(100.0)	(45.7)	(8.6)	(8.0)	(4.1)
調査年度	1. 平成18年度	290	146	22	22	12
		(100.0)	(50.3)	(7.6)	(7.6)	(4.1)
	2. 平成21年度	313	142	26	27	10
	(100.0)	(45.4)	(8.3)	(8.6)	(3.2)	
	3. 平成24年度	260	106	26	20	13
	(100.0)	(40.8)	(10.0)	(7.7)	(5.0)	

#### 問6. 大学時代のサークル活動への参加状況

卒業生で在学中サークル活動等への参加割合は63.8%。過去の調査と比較して参加割合は漸増していることがわかる。

<これまでの調査との比較>

問6. 大学時代になにかクラブ・サークルや団体に入っていましたか<0311>

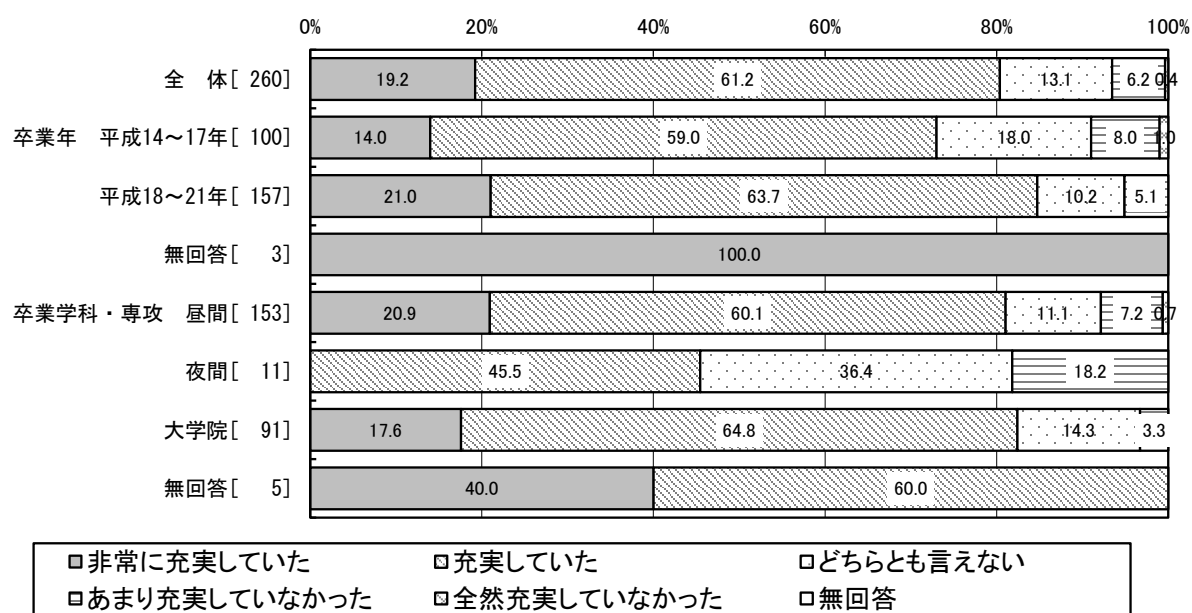


## 問7. 大学生活の充実度

卒業生の在学中における大学生活の充実度について、「非常に充実していた」「充実していた」を合わせた肯定回答の割合は全体で80.4%。卒業年別でみると平成18～21年卒業生の方が高い割合となっている。

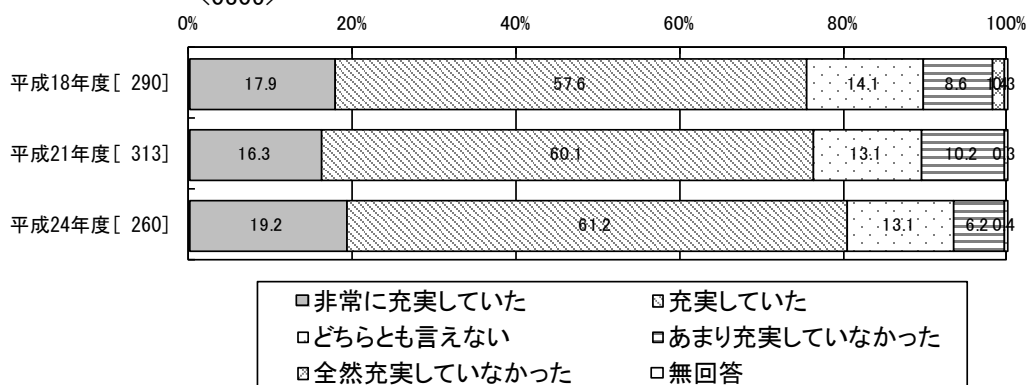
<これまでの調査との比較>でみると、若干ではあるが在学中における大学生活の充実度についての肯定割合が高まっていることがわかる。

問7. あなたの大学時代の生活は、全体としてどの程度充実していましたか<0305>



<これまでの調査との比較>

問7. あなたの大学時代の生活は、全体としてどの程度充実していましたか<0305>

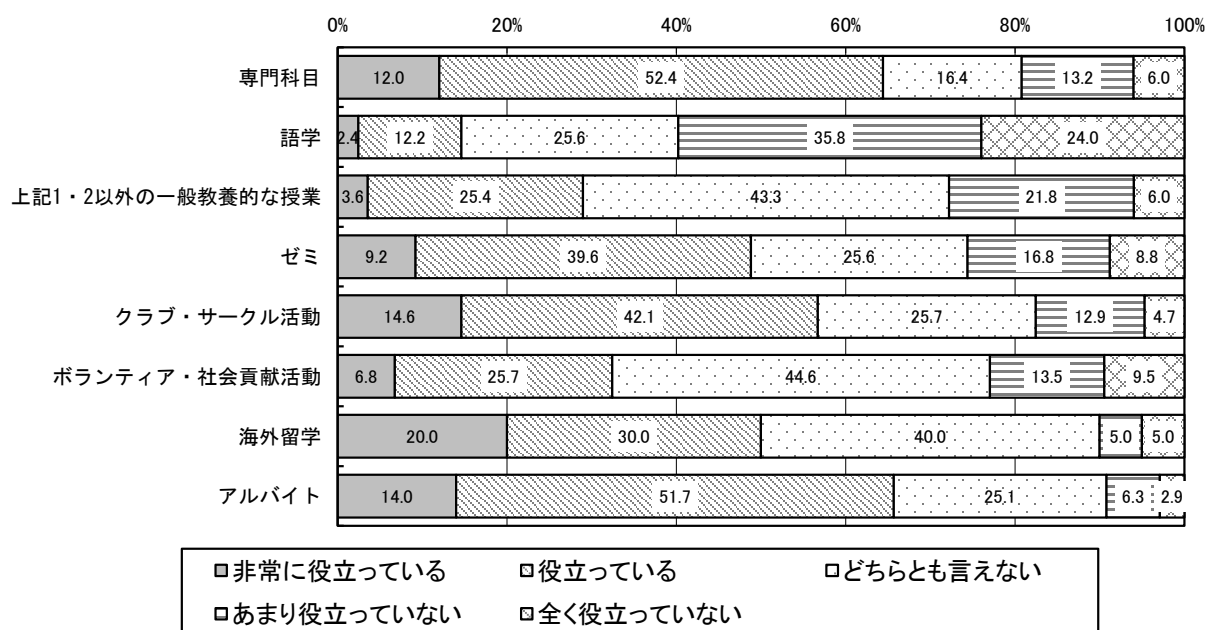


## 問8. 大学時代に学んだことや経験の現在の生活における貢献度

大学時代に学んだことや経験の現在の生活における貢献度についての設問である。項目によって「該当しない」割合も多いので、「該当しない」「無回答」を除いて集計した結果である。「非常に役立っている」「役立っている」の肯定回答の割合は、「アルバイト」が65.7%でトップ。次いで「専門科目」64.4%、「クラブ・サークル活動」56.7%となっている。

しかし、下図表の＜全回答結果＞からみると、ほぼ全ての回答者が該当する「専門科目」について「非常に役に立っている」「役に立っている」は63.1%となっており、卒業生全体としてみればその貢献度は一番高くなることがわかる。

問8. 大学時代に学んだことや経験は、現在どの程度役立っていると思いますか



### ＜全回答結果＞

問8. 大学時代に学んだことや経験は、現在どの程度役立っていると思いますか

	非常に役立っている	役立っている	どちらとも言えない	あまり役立っていない	全く役立っていない	該当しない	無回答	肯定的意見
1. 専門科目	11.8	51.4	16.1	12.9	5.9	1.2	0.8	63.1
2. 語学	2.4	11.8	24.7	34.5	23.1	3.1	0.4	14.1
3. 上記1・2以外の一般教養的な授業	3.5	25.1	42.7	21.6	5.9	1.2	0.0	28.6
4. ゼミ	9.0	38.8	25.1	16.5	8.6	1.6	0.4	47.8
5. クラブ・サークル活動	9.8	28.2	17.3	8.6	3.1	32.5	0.4	38.0
6. ボランティア・社会貢献活動	2.0	7.5	12.9	3.9	2.7	70.2	0.8	9.4
7. 海外留学	1.6	2.4	3.1	0.4	0.4	89.8	2.4	3.9
8. アルバイト	11.4	42.0	20.4	5.1	2.4	18.0	0.8	53.3

## 問9. 在学中に身につけておくべき知識、スキル

卒業生が在学中に身につけておくべきだったと考えている知識、スキルに関しては、全体で「語学力」が49.2%でトップ。次いで「専門的知識」40.4%、「プレゼンテーション」31.5%、「各種資格の取得」27.7%となっている。

前回調査(平成21年度)との比較では、「各種資格の取得」が35.1%から7.4%減少している。〈これまでの調査との比較〉で、漸増傾向にあるのは「語学力」「ディベート能力」「コミュニケーション能力」「海外留学」の4項目である。

問9. 在学中にもっとしておけば良かったと思うこと、身につけておきたかったと思うこと(3つ以内)

	回答者数	合計	1. 専門的知識	2. 語学力	3. 一般的な教養	4. ディベート能力	5. プレゼンテーション	6. コミュニケーション能力
全体	260 (100.0)	689 (265.0)	105 (40.4)	128 (49.2)	40 (15.4)	56 (21.5)	82 (31.5)	64 (24.6)
卒業年	1. 平成14年～平成17年	100 (100.0)	35 (35.0)	49 (49.0)	14 (14.0)	24 (24.0)	26 (26.0)	26 (26.0)
	2. 平成18年～平成21年	157 (100.0)	67 (42.7)	78 (49.7)	25 (15.9)	32 (20.4)	55 (35.0)	38 (24.2)
	3. 無回答	3 (100.0)	9 (300.0)	3 (100.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (-)	1 (33.3)

	7. OA機器・ITなどの使用法	8. 各種資格の取得	9. クラブ・サークル活動	10. ボランティア・社会貢献活動	11. 海外留学	12. アルバイト	13. その他	14. 無回答	
全体	32 (12.3)	72 (27.7)	21 (8.1)	15 (5.8)	47 (18.1)	16 (6.2)	7 (2.7)	4 (1.5)	
卒業年	1. 平成14年～平成17年	13 (13.0)	28 (28.0)	7 (7.0)	6 (6.0)	19 (19.0)	6 (6.0)	2 (2.0)	
	2. 平成18年～平成21年	17 (10.8)	44 (28.0)	14 (8.9)	9 (5.7)	27 (17.2)	10 (6.4)	5 (3.2)	2 (1.3)
	3. 無回答	2 (66.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

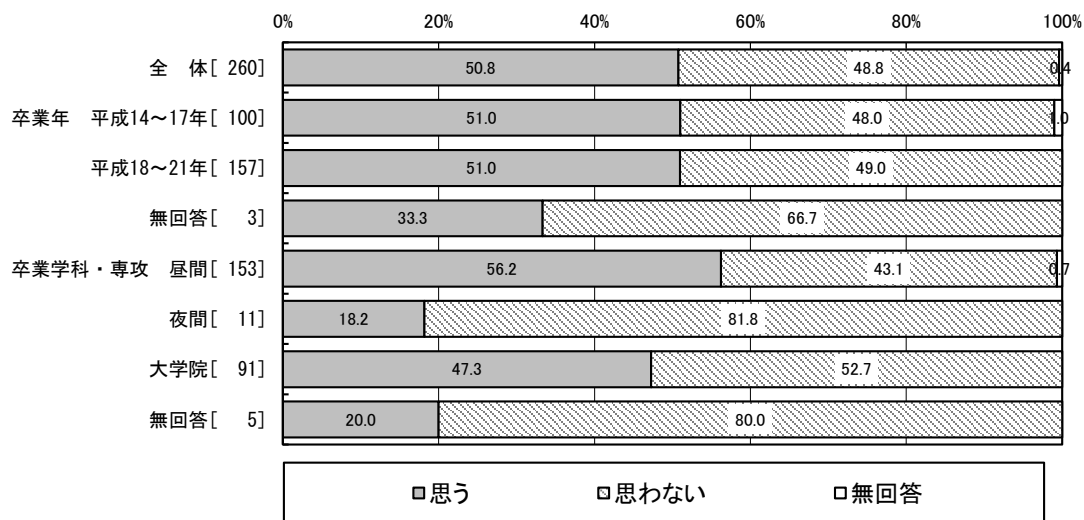
〈これまでの調査との比較〉

	専門的知識	語学力	一般的な教養	ディベート能力	プレゼンテーション	コミュニケーション能力	OA機器・ITなどの使用法	各種資格の取得	クラブ・サークル活動	社会貢献活動	ボランティア	海外留学	アルバイト	その他	無回答
平成18年度[290]	46.2	45.5	15.5	15.5	27.6	21.4	14.8	32.4	9.7	5.9	12.1	6.6	7.2	4.1	
平成21年度[313]	43.5	46.6	13.4	20.1	32.6	23.3	14.4	35.1	9.6	6.1	14.4	4.5	4.2	2.9	
平成24年度[260]	40.4	49.2	15.4	21.5	31.5	24.6	12.3	27.7	8.1	5.8	18.1	6.2	2.7	1.5	

### 問10. 自分の子供、身内に室蘭工業大学への進学を勧める意思の有無

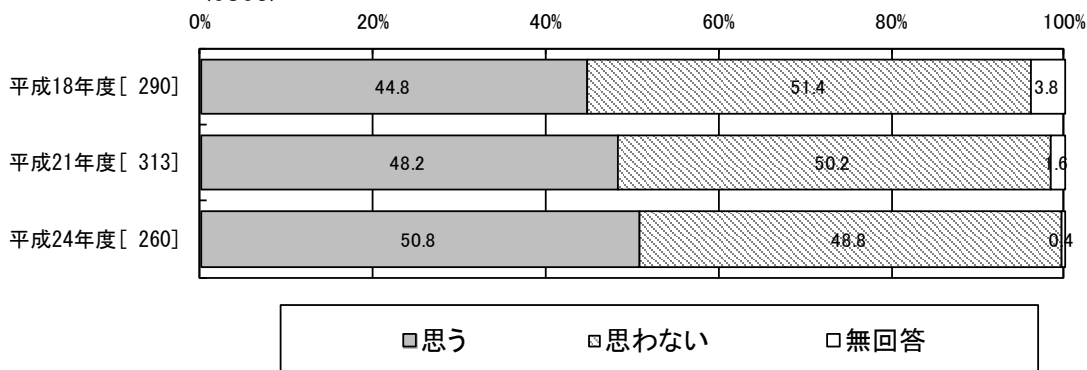
自分の子供、身内に本学への進学を勧めたいと思っている卒業生の割合は全体で 50.8%。平成 14～17 年卒業生、平成 18～21 年卒業生ともに 51.0%となっている。  
 <これまでの調査との比較>でみると、若干ではあるが肯定割合が向上している。

問10. 自分の子供、身内に室蘭工業大学への進学を勧めたいと思いますか<0803>



<これまでの調査との比較>

問10. 自分の子供、身内に室蘭工業大学への進学を勧めたいと思いますか<0803>



## 問11. 12. 室蘭工業大学進学を勧める理由・勧めない理由

本学進学を勧める理由としては「国立大学である」が73.5%でトップ。その他「就職に有利」42.4%、「自分の母校だから」35.6%と続いている。「就職に有利」について選択する割合が過去調査と比較して向上していることがわかる。

逆に、進学を勧めない理由としては、「本人が決めることだから」70.1%が最も多い。次いで「教育スタッフが充実していない」17.3%、「自宅から通えない」16.5%となっている。

問11. (問10で「1. 思う」と答えた方) 自分の子供、身内に室蘭工業大学への進学を勧めたいと思う理由 (3つ以内)

	回答者数	合計	1. 教育スタッフが充実している	2. 国立大学である	3. キャンパスの雰囲気がよい	4. 教育施設が充実している	5. 有能な人材を送り出している	6. 就職に有利	
全体	413 (100.0)	968 (234.4)	52 (12.6)	318 (77.0)	103 (24.9)	51 (12.3)	28 (6.8)	150 (36.3)	
調査年度	1. 平成18年度	130 (100.0)	19 (14.6)	97 (74.6)	38 (29.2)	23 (17.7)	16 (12.3)	37 (28.5)	
	2. 平成21年度	151 (100.0)	18 (11.9)	124 (82.1)	33 (21.9)	21 (13.9)	6 (4.0)	57 (37.7)	
	3. 平成24年度	132 (100.0)	282 (213.6)	15 (11.4)	97 (73.5)	32 (24.2)	7 (5.3)	6 (4.5)	56 (42.4)
	7. スポーツ・文化活動が活発	8. 偏差値が高い	9. 高校の先生・塾が勧める	10. 自分の母校だから	11. 自宅から通える	12. 歴史や伝統がある	13. その他	14. 無回答	
全体	3 (0.7)	4 (1.0)	0 (-)	156 (37.8)	36 (8.7)	27 (6.5)	36 (8.7)	4 (1.0)	
調査年度	1. 平成18年度	0 (-)	1 (0.8)	0 (-)	49 (37.7)	20 (15.4)	13 (10.0)	13 (10.0)	1 (0.8)
	2. 平成21年度	3 (2.0)	2 (1.3)	0 (-)	60 (39.7)	11 (7.3)	12 (7.9)	9 (6.0)	3 (2.0)
	3. 平成24年度	0 (-)	1 (0.8)	0 (-)	47 (35.6)	5 (3.8)	2 (1.5)	14 (10.6)	0 (-)

注: ( )内はサンプル数を100とした割合

問12. (問10で「2. 思わない」と答えた方) 自分の子供、身内に室蘭工業大学への進学を勧めたいと思わない理由 (3つ以内)

	回答者数	合計	1. 教育スタッフが充実していない	2. 国立大学である	3. キャンパスの雰囲気になじめない	4. 教育施設が充実していない	5. 有能な卒業生が少ない	6. 就職に不利	7. スポーツ・文化活動が活発でない	
全体	433 (100.0)	854 (197.2)	99 (22.9)	1 (0.2)	34 (7.9)	67 (15.5)	32 (7.4)	49 (11.3)	41 (9.5)	
調査年度	1. 平成18年度	149 (100.0)	44 (29.5)	1 (0.7)	9 (6.0)	27 (18.1)	11 (7.4)	16 (10.7)	11 (7.4)	
	2. 平成21年度	157 (100.0)	318 (202.5)	33 (21.0)	0 (-)	16 (10.2)	24 (15.3)	13 (8.3)	15 (9.6)	23 (14.6)
	3. 平成24年度	127 (100.0)	234 (184.3)	22 (17.3)	0 (-)	9 (7.1)	16 (12.6)	8 (6.3)	18 (14.2)	7 (5.5)
	8. 偏差値が低い	9. 高校の先生・塾が勧めない	10. 自分の母校だから	11. 自宅から通えない	12. 歴史や伝統を感じない	13. 本人が決めることだから	14. その他	15. 無回答		
全体	56 (12.9)	0 (-)	9 (2.1)	66 (15.2)	9 (2.1)	300 (69.3)	82 (18.9)	9 (2.1)		
調査年度	1. 平成18年度	17 (11.4)	0 (-)	4 (2.7)	18 (12.1)	4 (2.7)	108 (72.5)	31 (20.8)	1 (0.7)	
	2. 平成21年度	25 (15.9)	0 (-)	3 (1.9)	27 (17.2)	1 (0.6)	103 (65.6)	28 (17.8)	7 (4.5)	
	3. 平成24年度	14 (11.0)	0 (-)	2 (1.6)	21 (16.5)	4 (3.1)	89 (70.1)	23 (18.1)	1 (0.8)	

注: ( )内はサンプル数を100とした割合

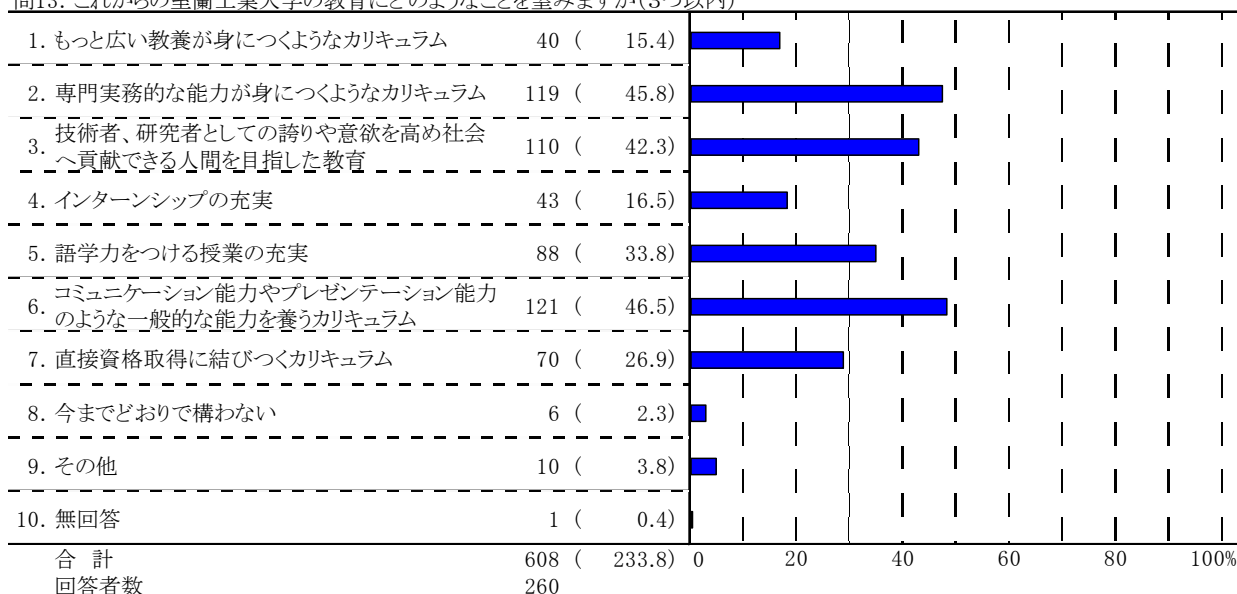
### 問13. これからの室蘭工業大学の教育に望む事項

卒業生が望む本学の教育内容・方向性についての設問である。

5割以上の項目はなく、「コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力のような一般的な能力を養うカリキュラム」46.5%、次いで「専門実務的な能力が身につくようなカリキュラム」45.8%、「技術者、研究者としての誇りや意欲を高め社会へ貢献できる人間を目指した教育」42.3%となっている。

<これまでの調査との比較>でみると、要望として漸増している項目は「語学力をつける授業の充実」のみである。

問13. これからの室蘭工業大学の教育にどのようなことを望みますか(3つ以内)



### <これまでの調査との比較>

	回答者数	合計	1. もっと広い教養が身につくようなカリキュラム	2. 専門実務的な能力が身につくようなカリキュラム	3. 技術者、研究者としての誇りや意欲を高め社会へ貢献できる人間を目指した教育	4. インターシップの充実	5. 語学力をつける授業の充実	6. コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力のような一般的な能力を養うカリキュラム	7. 直接資格取得に結びつくカリキュラム	8. 今までどおりで構わない	9. その他	10. 無回答	
全体	863 (100.0)	2,173 (251.8)	172 (19.9)	415 (48.1)	415 (48.1)	143 (16.6)	262 (30.4)	406 (47.0)	278 (32.2)	28 (3.2)	44 (5.1)	10 (1.2)	
調査年度	1. 平成18年度	290 (100.0)	64 (22.1)	137 (47.2)	159 (54.8)	41 (14.1)	86 (29.7)	135 (46.6)	95 (32.8)	9 (3.1)	17 (5.9)	3 (1.0)	
	2. 平成21年度	313 (100.0)	819 (261.7)	68 (21.7)	159 (50.8)	146 (46.6)	59 (18.8)	88 (28.1)	150 (47.9)	113 (36.1)	13 (4.2)	17 (5.4)	6 (1.9)
	3. 平成24年度	260 (100.0)	608 (233.8)	40 (15.4)	119 (45.8)	110 (42.3)	43 (16.5)	88 (33.8)	121 (46.5)	70 (26.9)	6 (2.3)	10 (3.8)	1 (0.4)

注：( )内はサンプル数を100とした割合



## 問14. 室蘭工業大学出身で「良かった」「良くなかった」と思うこと

室蘭工業大学出身で「良かったと思う点」、「良くなかったと思う点」の自由記述については回答者260人中半数の130人から具体的な記述をいただいた。

「良かったと思う点」で記載の多さが目立つのは、「入社した会社に先輩がいて心強かった。良くしてもらった」「友人、先輩に恵まれた。人脈が広がった」、「周囲からの評価、知名度が高い」、「就職に有利」、「国立大学である」等である。

逆に良くなかった点としては、「(北海道以外では)知名度が低い」、「他校(ほかの大学・専門学校)や企業との接点が少なかった」、「対人能力を磨く機会が少なかった(プレゼン・ディベート・語学)」、「交通が不便、周囲になにもない」等が挙げられている。

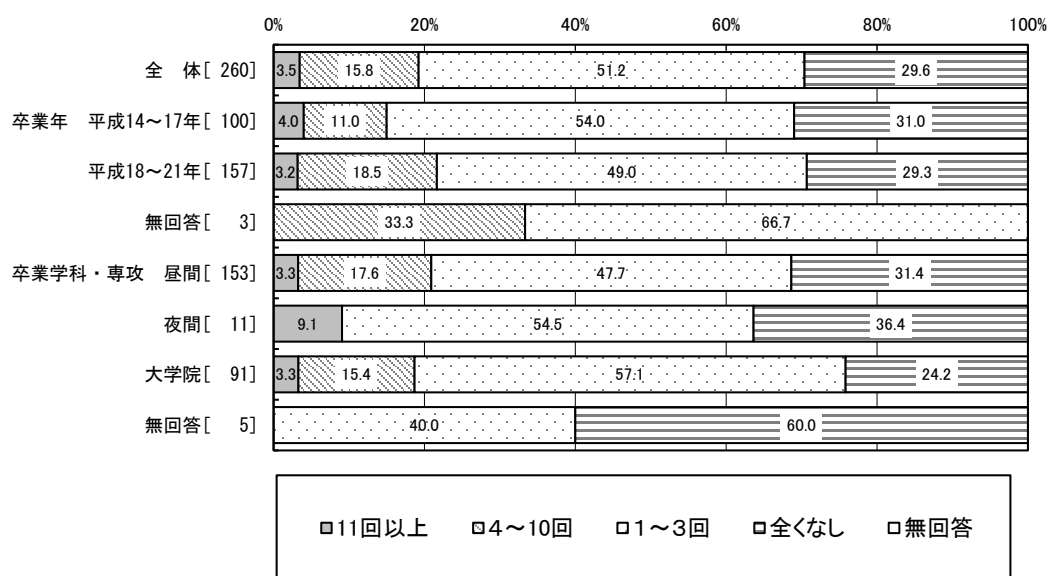
自由記述については巻末に全文を掲載したので参照いただきたい。

## 問15. 卒業後のキャンパス訪問状況

卒業後に1回以上キャンパスを訪れたことのある卒業生は、全体で70.4%。

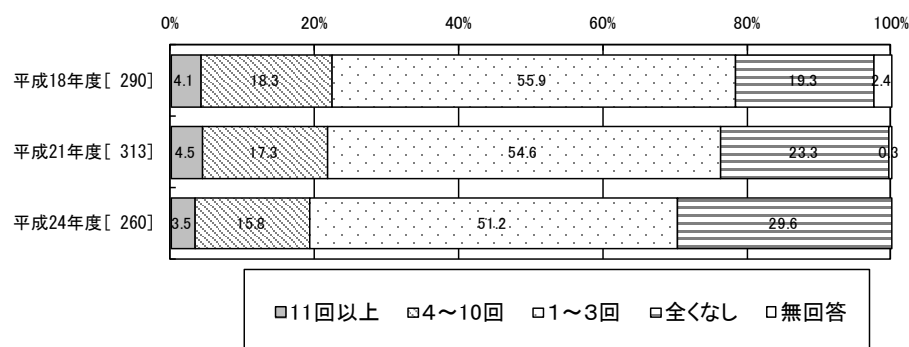
<これまでの調査との比較>でみるとキャンパスを訪れる卒業生の割合は減少傾向にある。

問15. 卒業後どれくらいキャンパスを訪れましたか<0831>



<これまでの調査との比較>

問15. 卒業後どれくらいキャンパスを訪れましたか<0831>



## 問16. 卒業後にキャンパスを訪問した目的

卒業後にキャンパスを訪問した目的としては、「ゼミの先生や仲間に会いに」が44.2%で最も多い。次いで「後輩のクラブ活動の指導で」10.0%、「大学祭・同窓会などで」5.4%の順になっている。

問16. 卒業後、キャンパスを訪れた主な目的（3つ以内）

	大学祭・同窓会などで	後輩のクラブ活動の指導で	図書館など大学施設の利用で	ゼミの先生や仲間に会いに	聴講や研究で	卒業・成績証明書をもらいに	家族に母校を見せるため	公開講座、各種講演会を開くために	その他	無回答
全体[ 260]	5.4	10.0	2.7	44.2	0.8	4.2	4.6	0.8	21.5	29.6
卒業年 平成14～17年[ 100]	4.0	7.0	1.0	38.0	2.0	6.0	6.0	1.0	22.0	31.0
平成18～21年[ 157]	6.4	12.1	3.8	47.8	—	3.2	3.8	0.6	20.4	29.3
無回答[ 3]	—	—	—	66.7	—	—	—	—	66.7	—
卒業学科・専攻 昼間[ 153]	8.5	12.4	3.9	39.9	1.3	3.3	6.5	0.7	19.0	30.7
夜間[ 11]	—	9.1	—	45.5	—	18.2	—	—	27.3	36.4
大学院[ 91]	1.1	6.6	1.1	52.7	—	4.4	2.2	1.1	25.3	25.3
無回答[ 5]	—	—	—	20.0	—	—	—	—	20.0	60.0

## 問17. 同窓との継続的なネットワークの有無とその状況

同窓と何らかの繋がりを持っている卒業生は、全体の73.8%。具体的には「先輩・同期・後輩とのプライベートな繋がりがある」が59.2%で最も多い。次いで「クラブ・サークル・ゼミの集まりに参加している」17.3%、「先生との繋がりがある」14.2%となっている。

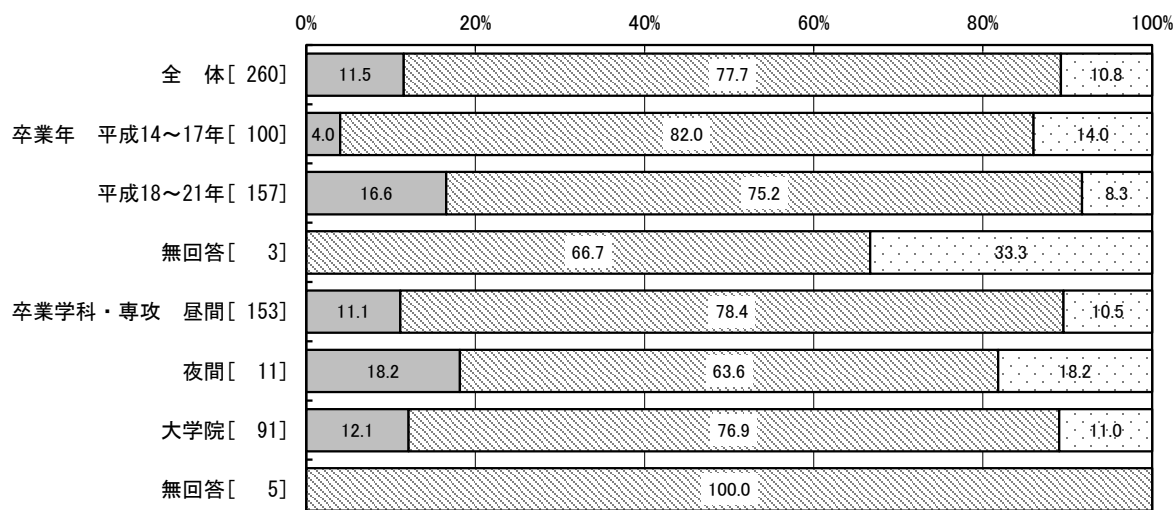
問17. 卒業後、同窓との繋がりをどのように持っておられますか（3つ以内）〈0851〉

	同窓会・地域支部に参加している	企業内・職域などの集まりに参加している	ミクラブ・サークル・ゼミの集まりに参加している	クラブ・サークル・ゼミの集まりに参加している	プライベートな繋がりがある	先輩・同期・後輩との繋がりがある	先生との繋がりがある	行事を通してスポーツ・音楽などの繋がりがある	特別なものは無い	無回答
全体[ 260]	6.9	9.6	17.3	59.2	14.2	1.5	25.4	0.8		
卒業年 平成14～17年[ 100]	8.0	10.0	14.0	55.0	8.0	2.0	29.0	—		
平成18～21年[ 157]	6.4	9.6	18.5	63.1	18.5	1.3	22.9	1.3		
無回答[ 3]	—	—	66.7	—	—	—	33.3	—		
卒業学科・専攻 昼間[ 153]	8.5	9.8	14.4	59.5	10.5	1.3	27.5	1.3		
夜間[ 11]	9.1	18.2	9.1	45.5	—	—	27.3	—		
大学院[ 91]	4.4	8.8	23.1	61.5	23.1	1.1	22.0	—		
無回答[ 5]	—	—	20.0	40.0	—	20.0	20.0	—		

### 問18. 大学及び同窓会、記念事業等に対する寄付や献金の有無と今後の意向

本学の同窓会、記念事業等に寄付や献金をしたことがある卒業生の割合は、全体の11.5%。一方、「したことはないがしたい意思はある」卒業生も10.8%でほぼ同数存在する。

問18. 室蘭工業大学や同窓会、記念事業等に寄付や献金をしたことがありますか<0811>

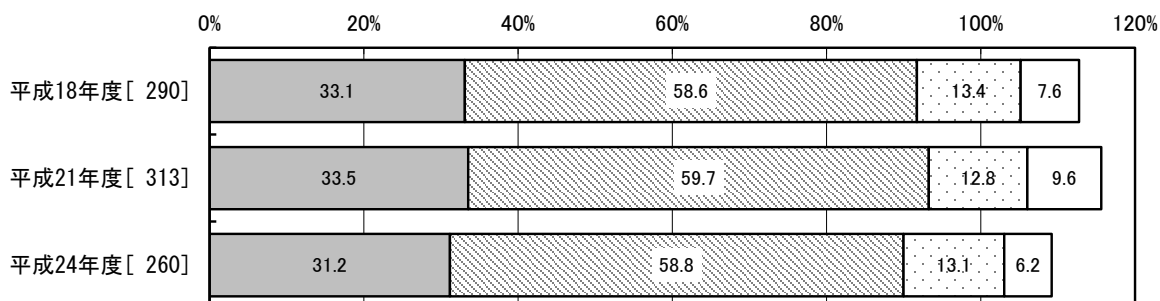


したことがある  
 したことがない  
 したことはないがしたい意思はある  
 無回答

### 問19. 大学の情報に触れる媒体

本学の情報に触れる主な媒体としては、「室蘭工業大学のホームページ」が58.8%と最も多い。これまでの調査と比較しても大きな変化は見られない。

問19. 室蘭工業大学の情報に触れる主な媒体は何ですか(複数回答)



マスコミ    室蘭工業大学のホームページ    その他    無回答

問 20. ここ 2～3 年で目にした大学に関するニュース・話題（自由記述）

（件）

女子寮の新築	11
ジンギスカン鍋	6
雪冷房・雪利用	6
ロケット・航空技術	6
女子学生の活躍	5
ボルタ	5
同窓の室蘭市長就任	4
大学グッズ（むろびょん）	4
ロボコン	4
エコラリー参加	2
その他	30

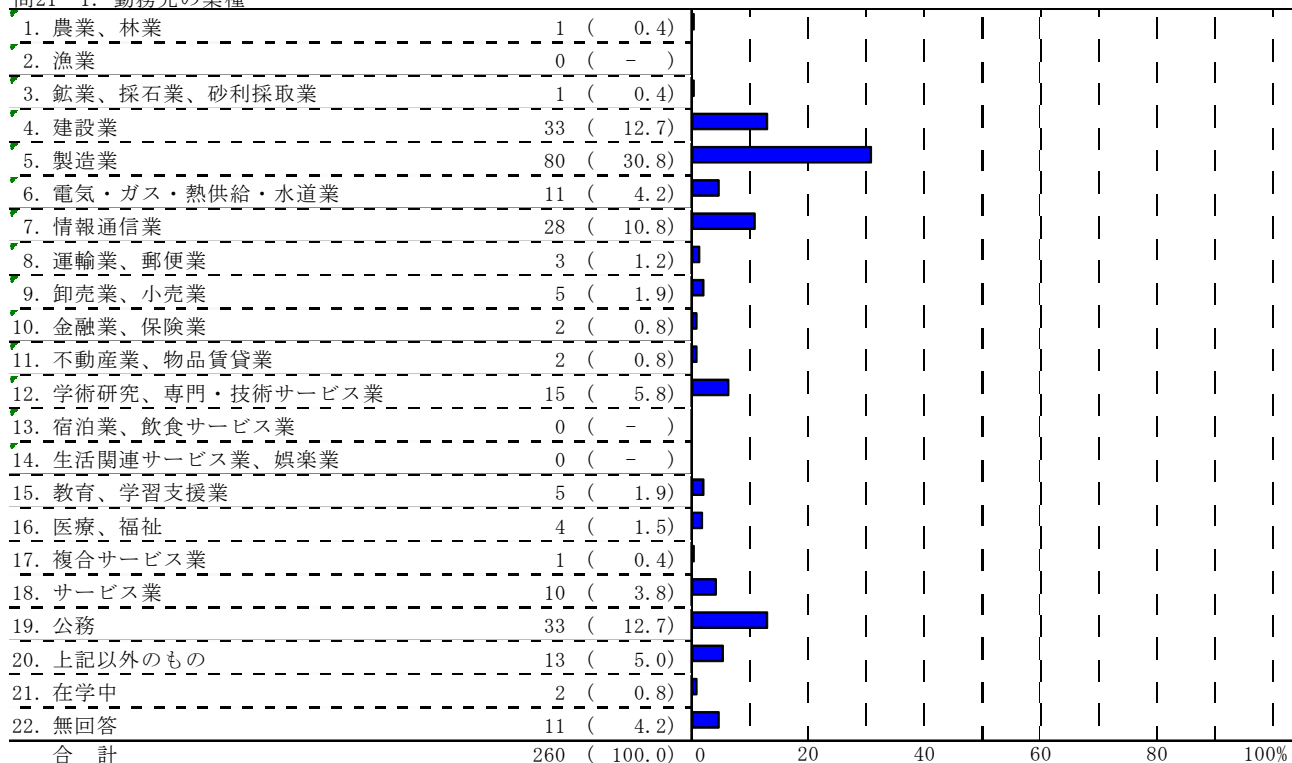
## 問21. 現在の勤務先の業種と会社内での職種、役職

卒業生の勤務先の業種としては、「製造業」30.8%がトップ。次いで「建設業」12.7%、「公務」12.7%、「情報通信業」10.8%となっている。

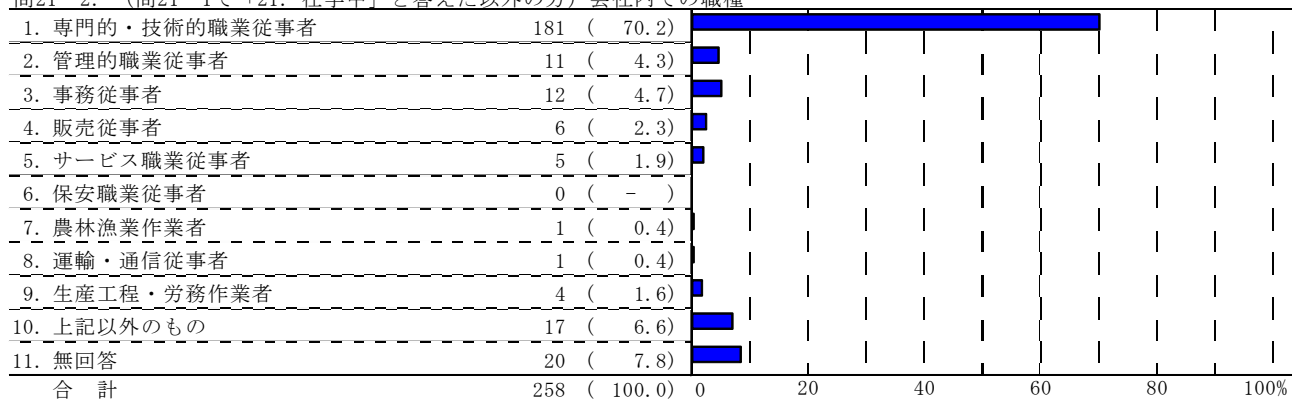
社内での職種としては、「専門的・技術的職業従事者」が70.2%と圧倒的に多い。

比較的若年の卒業生がアンケート対象のため、現在の役職については一般職の割合が高くなっていると思われる。

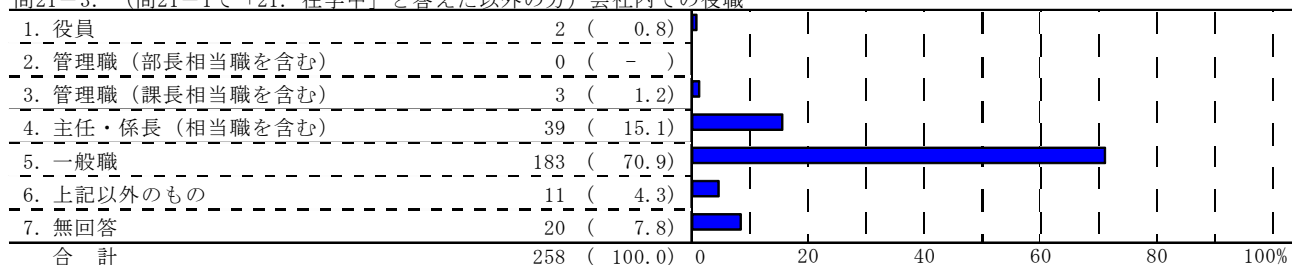
問21-1. 勤務先の業種



問21-2. (問21-1で「21. 在学中」と答えた以外の方) 会社内での職種



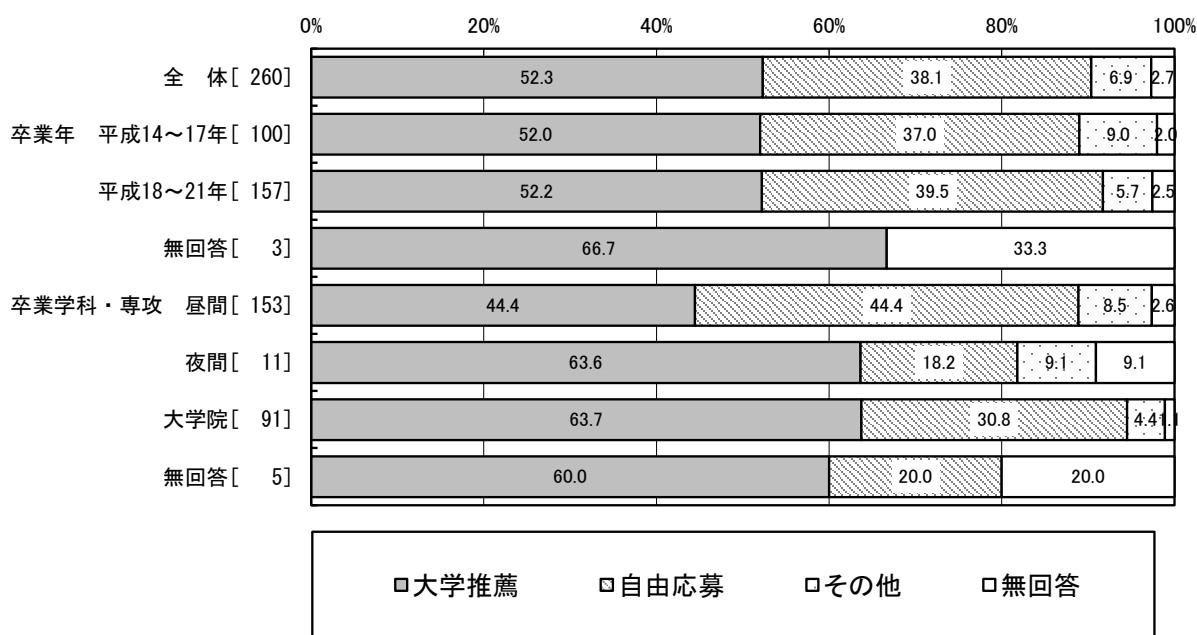
問21-3. (問21-1で「21. 在学中」と答えた以外の方) 会社内での役職



### 問22-1. 就職の形式(大学推薦か自由応募か)

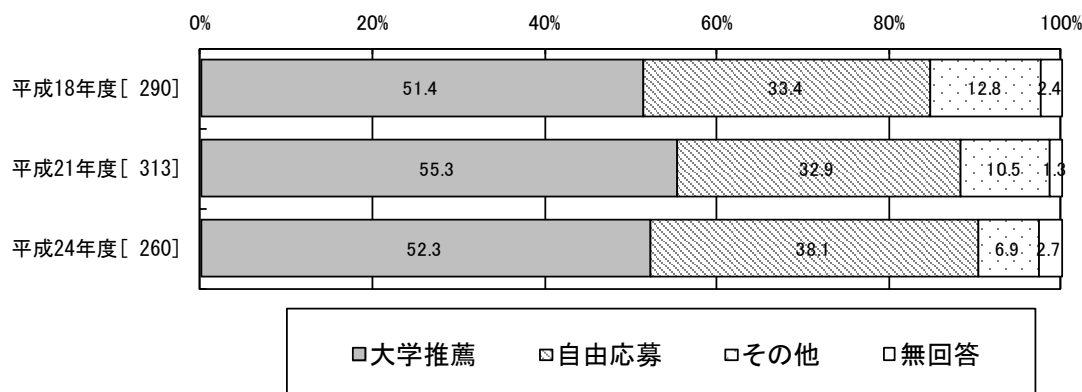
就職した際の形式は、「大学推薦」が全体の52.3%。今回調査における卒業年別、<これまでの調査との比較>をみても大きな変化は認められない。

問22. あなたが卒業時に就職した際の形式や満足度について  
問22-1. 就職は大学推薦でしたか自由応募でしたか



<これまでの調査との比較>

問22. あなたが卒業時に就職した際の形式や満足度について 問22-1. 就職は大学推薦でしたか自由応募でしたか

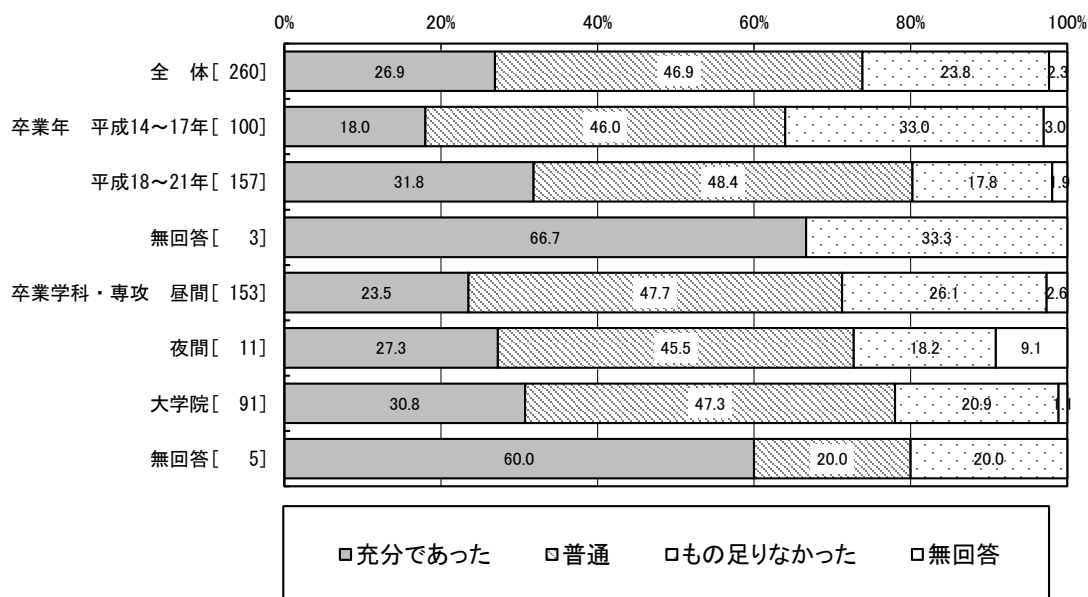


## 問22-2. 就職時の大学サポートの満足度

就職時の大学側のサポートについて、「充分であった」「普通」の合計は全体で 73.8%。平成14～17年卒業生と平成18～21年卒業生の比較で見ると、平成18～21年卒業生において「充分であった」の割合が13.8%と大きく増加している。

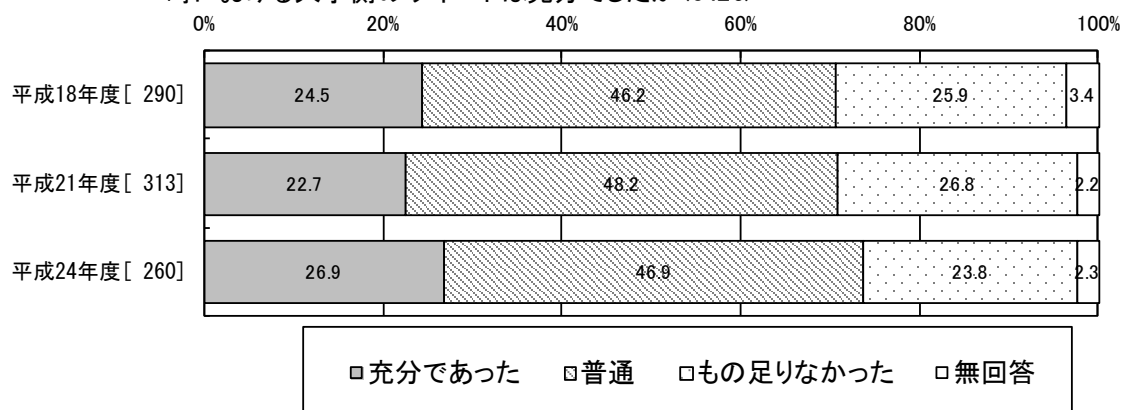
<これまでの調査との比較>でも、就職時の大学側のサポートについての満足度の向上が認識される。

問22. あなたが卒業時に就職した際の形式や満足度について  
問22-2. 就職時における大学側のサポートは充分でしたか<0426>



<これまでの調査との比較>

問22. あなたが卒業時に就職した際の形式や満足度について 問22-2. 就職時における大学側のサポートは充分でしたか<0426>



### 問22-3. 卒業時の就職先に関する満足度

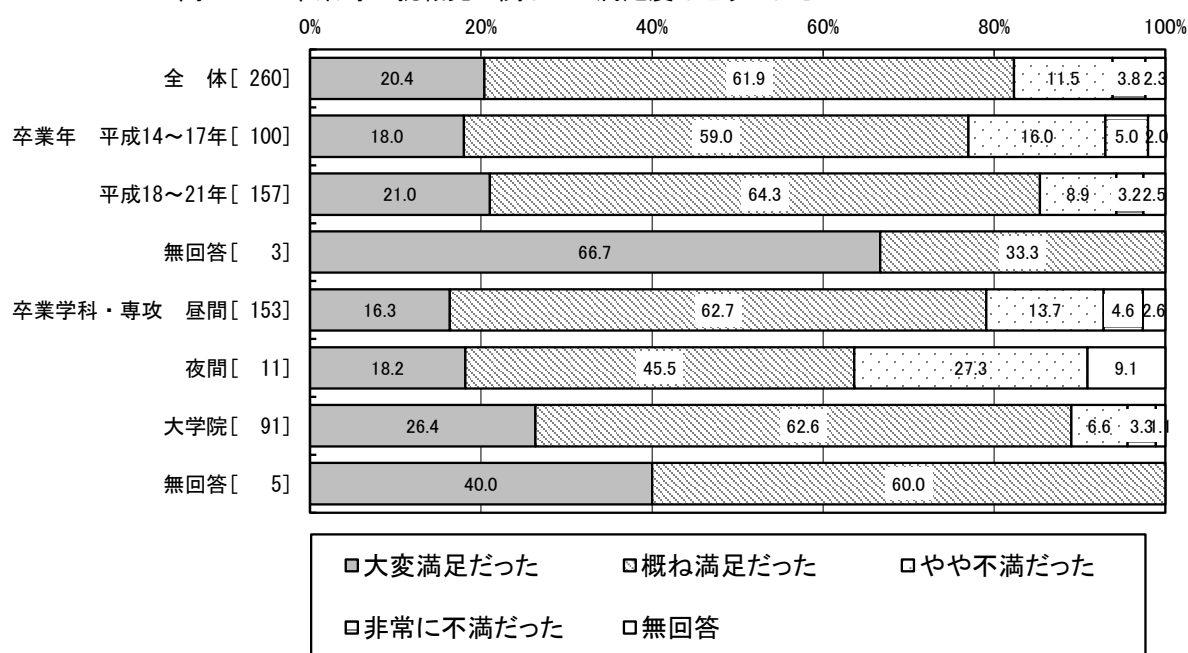
卒業時の就職先に関しての満足度については、「大変満足だった」「概ね満足だった」を合わせて82.3%。

平成14～17年卒業生と平成18～21年卒業生の比較で見ると、平成18～21年卒業生において「大変満足だった」「概ね満足だった」を合わせて8.3%大きく増加している。

<これまでの調査との比較>でも、「大変満足だった」「概ね満足だった」を合わせた割合は、

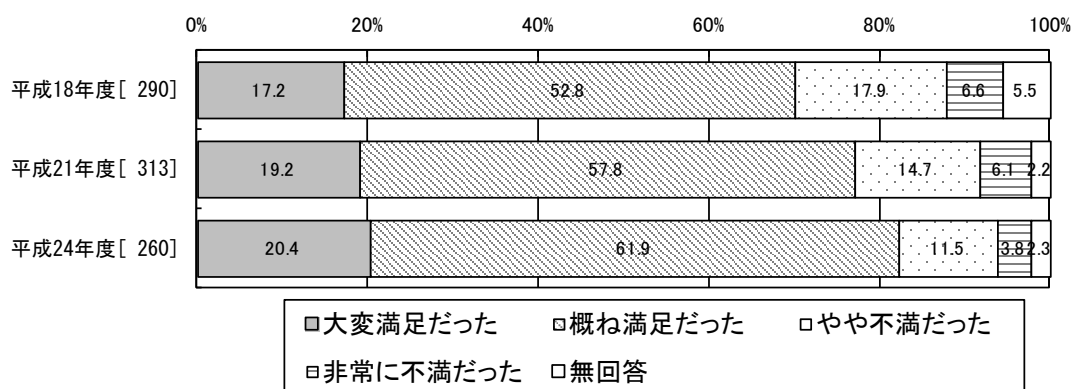
平成18年度調査70.0%が、平成21年度調査では77.0%に向上。さらに今回調査では82.3%となっており卒業生と企業とのマッチングが大きく向上していると言える。

問22. あなたが卒業時に就職した際の形式や満足度について  
問22-3. 卒業時の就職先に関する満足度はどうでしたか<0402>



<これまでの調査との比較>

問22. あなたが卒業時に就職した際の形式や満足度について 問22-3. 卒業時の就職先に関する満足度はどうでしたか<0402>





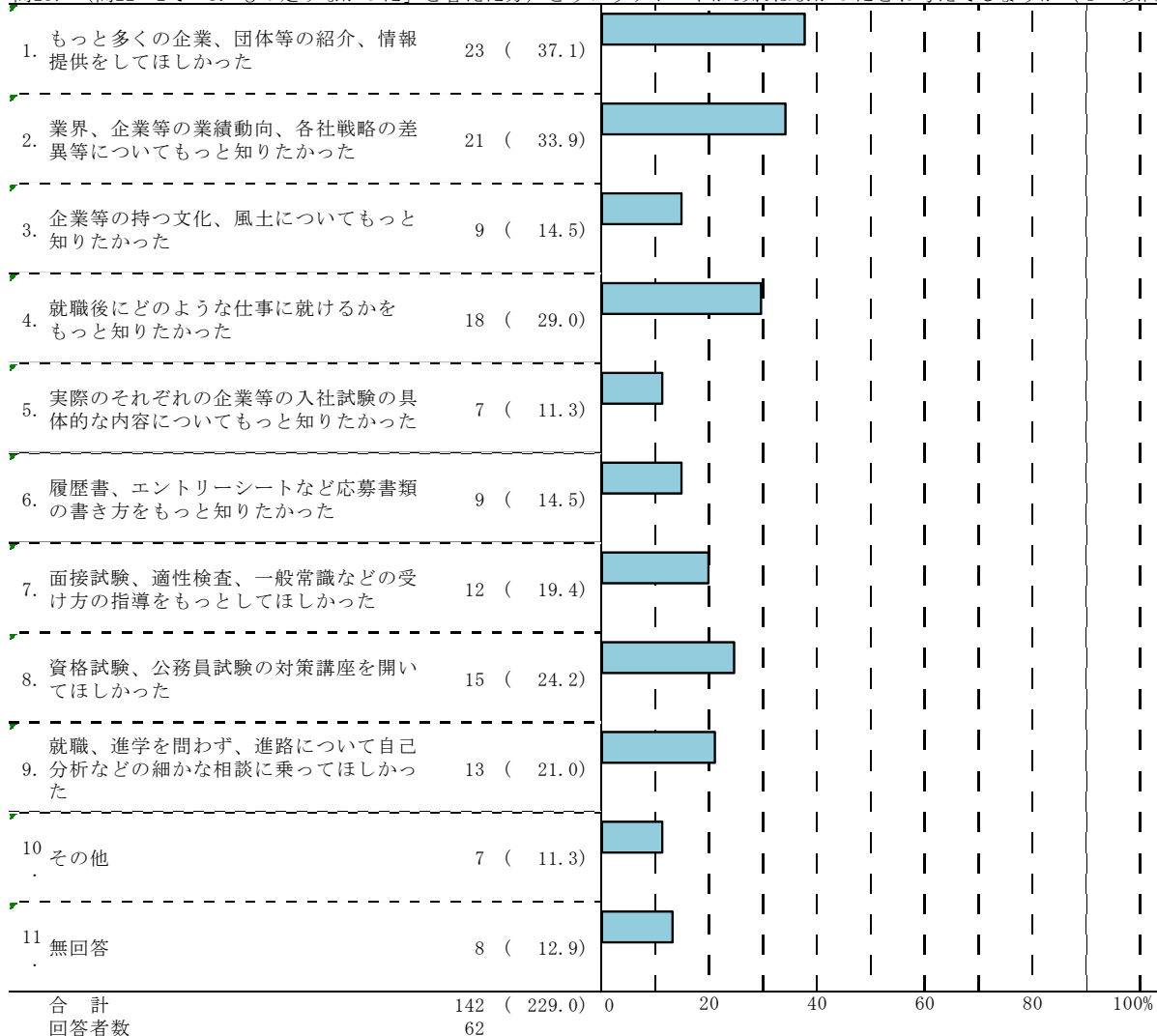
### 問23. 就職時に必要だったと思うサポートの内容

就職時の大学側のサポートが「もの足りなかった」と回答した卒業生が考えるサポートの種類や項目を3つ以内の選択式で聞いた集計である。

「もっと多くの企業、団体等の紹介、情報提供をしてほしかった」が37.1%で最も多い。その他、20%以上の割合を占めた項目としては、「業界、企業等の業績動向、各社戦略の差異等についてもっと知りたかった」33.9%、「就職後にどのような仕事に就けるかをもっと知りたかった」29.0%、

「資格試験、公務員試験の対策講座を開いてほしかった」24.2%、「就職、進学を問わず、進路について自己分析などの細かな相談に乗ってほしかった」21.0%となっている。

問23. (問22-2で「3. もの足りなかった」と答えた方) どういうサポートがあればよかったとお考えでしょうか (3つ以内)



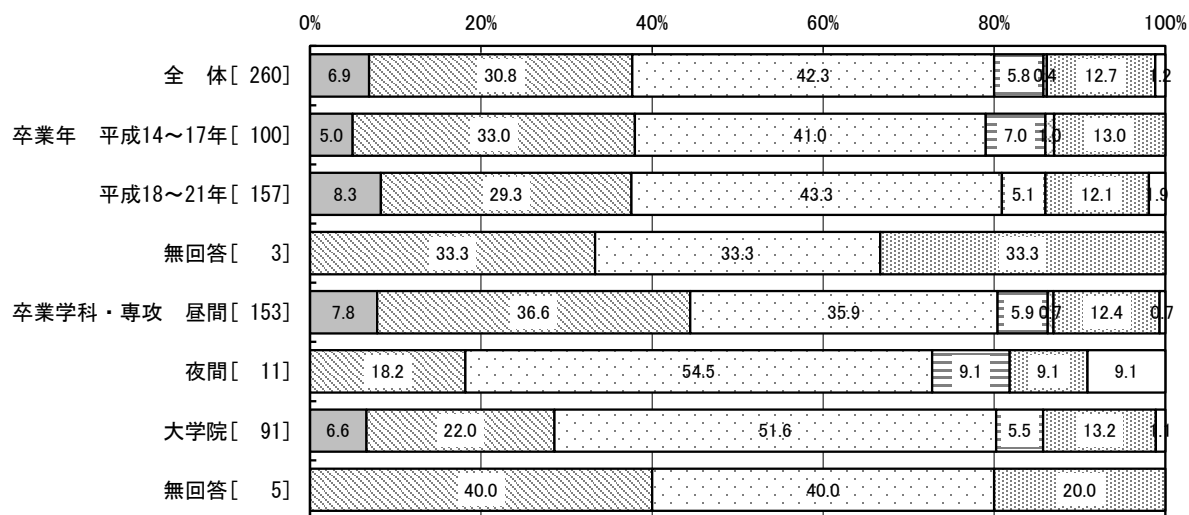


## 問24. 勤務先での室蘭工業大学及び卒業生の評価

勤務先における本学と卒業生に対する評価について、「非常に高い評価を受けていると感じる」「やや高い評価を受けていると感じる」を合わせた肯定回答の割合は、全体で37.7%。

<これまでの調査との比較>からみると過去調査と比較して「普通である」という回答割合が増加している。

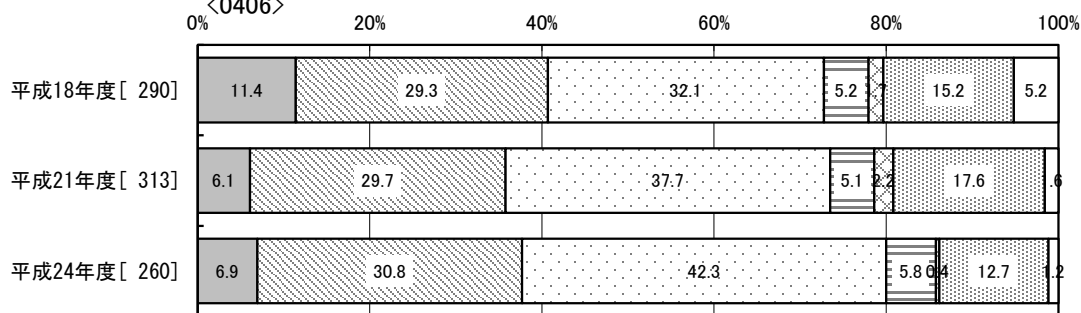
問24. 勤務先での室蘭工業大学または卒業生の評価をどう感じていますか<0406>



- 非常に高い評価を受けていると感じる
- やや高い評価を受けていると感じる
- 普通である
- やや低い評価を受けていると感じる
- 非常に低い評価を受けていると感じる
- わからない
- 無回答

<これまでの調査との比較>

問24. 勤務先での室蘭工業大学または卒業生の評価をどう感じていますか<0406>



- 非常に高い評価を受けていると感じる
- やや高い評価を受けていると感じる
- 普通である
- やや低い評価を受けていると感じる
- 非常に低い評価を受けていると感じる
- わからない
- 無回答

## 問25. 転職の経験の有無と回数

転職経験のある卒業生の割合は、全体で20.4%。平成14～17年卒業生で32.0%、平成18～21年卒業生では13.4%となっている。

<これまでの調査との比較>でみると、前回(平成21年度)調査とほぼ同様の結果となっている。

問25. あなたはこれまでに何回転職の経験がありますか

	1回	2回	3回以上	転職の経験 はない	就職の経験 はない	無回答	1回以上の転 職経験者
全体[ 260]	15.8	1.9	2.7	75.4	3.1	1.2	20.4
卒業年 平成14～17年[ 100]	25.0	1.0	6.0	64.0	4.0	—	32.0
平成18～21年[ 157]	10.2	2.5	0.6	82.2	2.5	1.9	13.4
無回答[ 3]	—	—	—	100.0	—	—	0.0
卒業学科・専攻 昼間[ 153]	19.6	3.3	3.3	70.6	2.6	0.7	26.1
夜間[ 11]	9.1	—	9.1	72.7	9.1	—	18.2
大学院[ 91]	11.0	—	1.1	82.4	3.3	2.2	12.1
無回答[ 5]	—	—	—	100.0	—	—	0.0

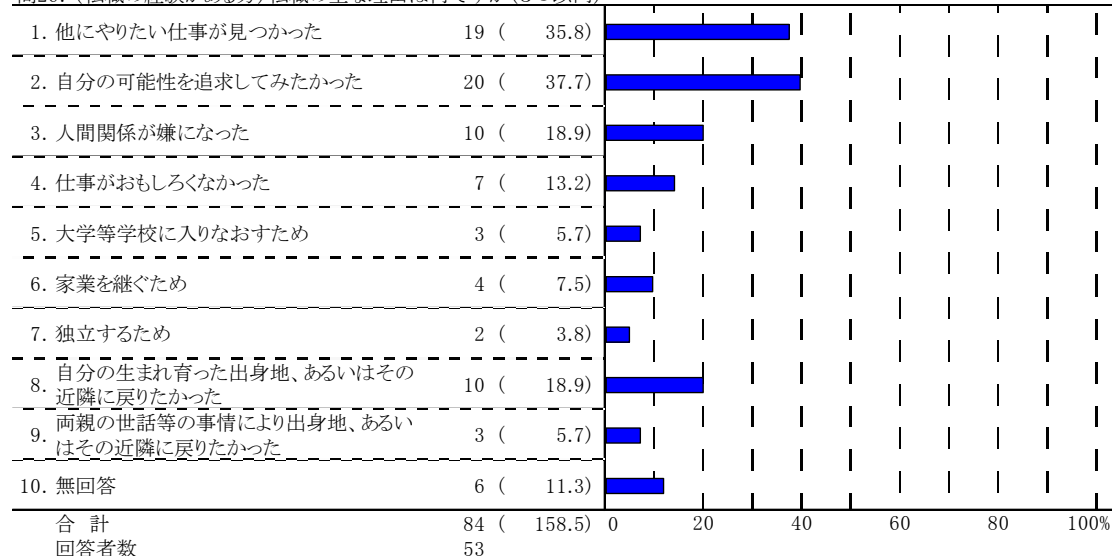
<これまでの調査との比較>

	1回	2回	3回以上	転職の経験 はない	就職の経験 はない	無回答	1回以上の転 職経験者
平成18年度[ 290]	21.7	4.8	2.1	64.5	3.1	3.8	28.6
平成21年度[ 313]	16.6	2.6	2.6	74.4	3.2	0.6	21.7
平成24年度[ 260]	15.8	1.9	2.7	75.4	3.1	1.2	20.4

## 問26. 転職の主な理由

転職の主な理由として20%以上の項目は2つで、「自分の可能性を追求してみたかった」37.7%、「他にやりたい仕事が見つかった」35.8%となっている。

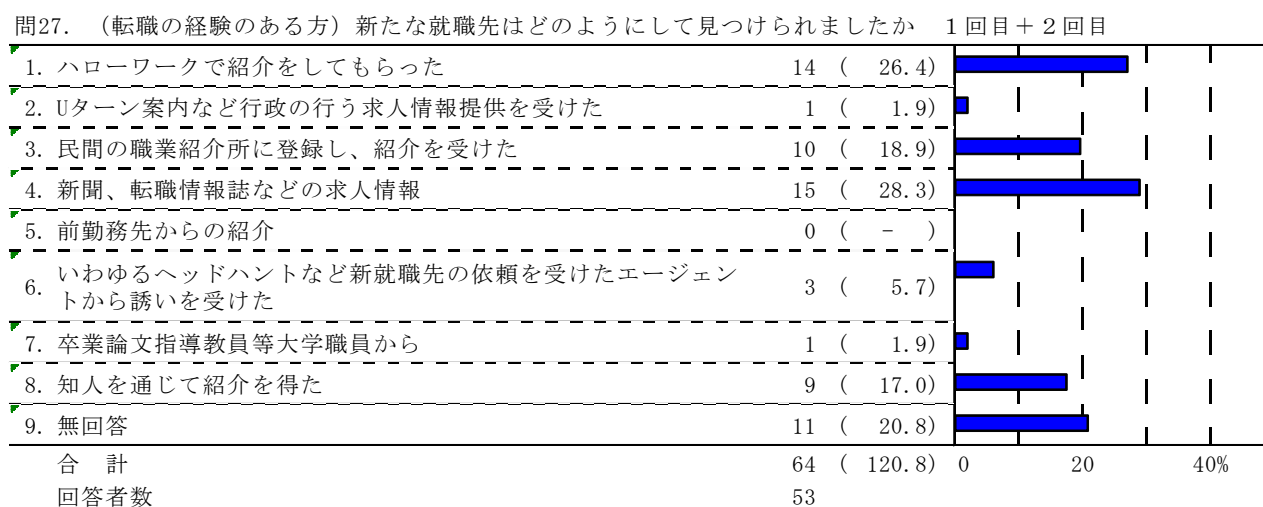
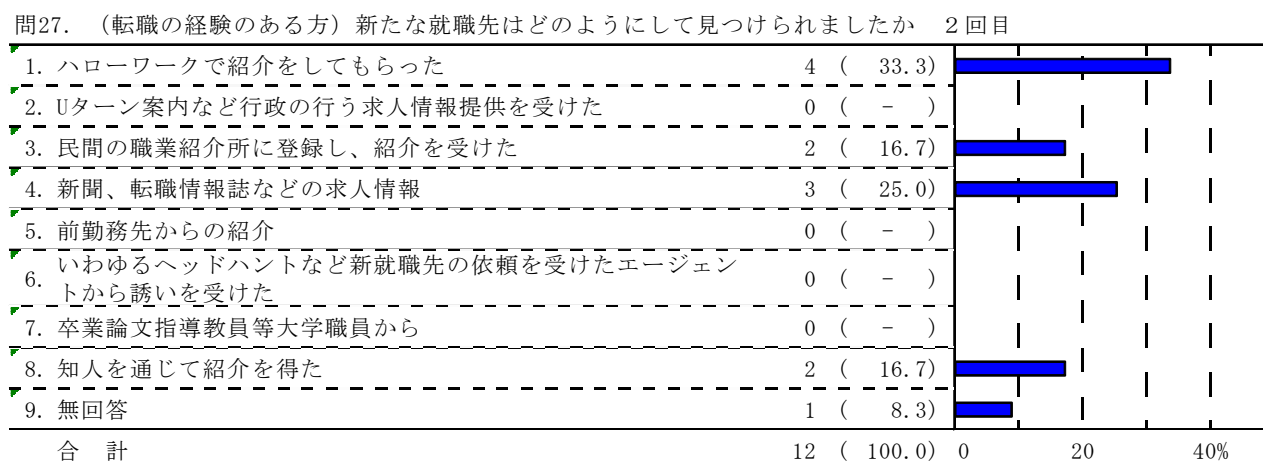
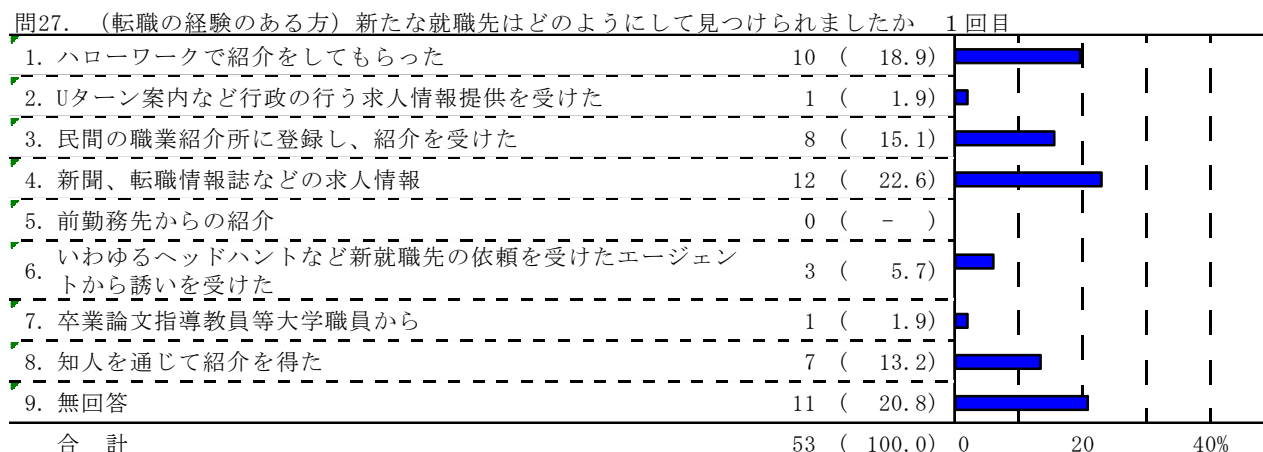
問26. (転職の経験がある方) 転職の主な理由は何ですか(3つ以内)



## 問27. 新たな就職先を探した手段

新たな就職先を探す手段としては、1回目は「新聞、転職情報誌などの求人情報」が22.6%で最も多く、次いで「ハローワークで紹介してもらった」18.9%、「民間の職業紹介所に登録し、紹介を受けた」15.1%となっている。

2回目については母数が少ないので参考程度としていただきたい。



## 問28. 新たな就職先を紹介された知人との関係性

新たな就職先を紹介された知人との関係は以下のとおりである。

問28. (問27で「8. 知人を通じて紹介を得た」と答えた方) あなたに新就職先を紹介した知人はどういう知人でしょうか

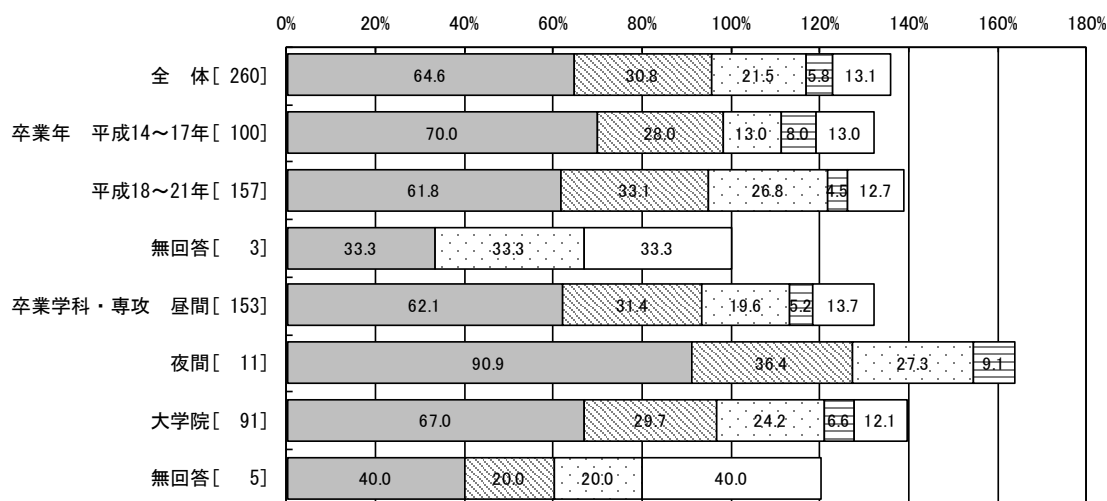


## 問29. 本学が転職支援サービスを提供する場合に求めるサービス内容

本学が卒業生に対して転職支援サービスを提供するとした場合に求めるサービス内容としては、「求人情報」が 64.6%で最も多く、「資格試験、公務員講座を開設し、卒業生にも開放してほしい」30.8%、「室蘭工業大学で行われる就職ガイダンス(面接試験の受け方などを含む)、企業セミナー等を、卒業生にも開放してほしい」21.5%の順になっている。

卒業年度で比較すると、「室蘭工業大学で行われる就職ガイダンス(面接試験の受け方などを含む)、企業セミナー等を、卒業生にも開放してほしい」について、平成 18～21 年卒業生 26.8%の方が、平成 14～17 年卒業生 13.0%よりも 13.8%高くなっている。

問29. 室蘭工業大学が卒業生に対し転職支援サービスを提供するとした場合、どのようなサービスを受けたいと思われるでしょうか(複数回答)



- 求人情報
- 資格試験、公務員講座を開設し、卒業生にも開放してほしい
- 室蘭工業大学で行われる就職ガイダンス(面接試験の受け方などを含む)、企業セミナー等を、卒業生にも開放してほしい
- その他
- 無回答

### 問30. 卒業生として室蘭工業大学に期待すること、意見・要望など

回答者 260 名の内 83 名から具体的な記述をいただいたものを大まかに分類して掲載した。「広報力の強化」「教育改善」「国際化の推進」「就職支援改善」「地域社会・産業との連携」などの観点から複数の記載があった。また、「本学への期待」や「総合的な観点」からの記載も多数いただいた。

問30. 室蘭工業大学に期待すること、ご意見・ご要望などがあれば、自由にお書きください。	
広報力の強化	独法となり、学校経営がさらに厳しくなる現在、もっと社会にアピールしていくことが必要。また、OBに期待などせず、「学校発」のものを多く輩出し、そこにOBの力を借りれるネットワークの形成が必要。
	室蘭工業大学出身である事を誇りに思います。イベント等を通じ、知名度を上げて欲しいし、室工大が活躍する事を願います。
	大学の全国的なイメージアップ、学生のレベルの底上げ、コミュニケーション力の向上（特にプレゼン力）、最先端技術の研究。
	もっとマスコミにアピール出来る研究をして欲しい。
	北海道外の企業に対する知名度を高める取り組みを期待します。
	新聞やテレビ・パンフレット等、媒体を問わず、良い意味で露出が増えている。室工大（の存在を）を知ってもらう事に積極的に取り組んでいる事が伺える。多様な学生の獲得が、大学の価値向上につながると思うので評価出来ます。どんな事でも良いので、“室工大がNO.1”と言われるような分野を勝ち取ってください。
	本州でも、もっと知名度を上げて下さい。
	航空以外の基礎研究分野でも、特色をアピールできるものがあると良いと思います（機械系の話になってしまいますが）。
	もっと知名度を上げて頂ければと思います。
	情報発信力。 ①知名度の向上、イメージアップをお願いします。 ②HPを更に充実させ、沢山の情報を発信して下さい。
教育改善	室蘭工業大学が、一大学として存続しようとする気持ちが、様々な活動を通じて伝わってきます。今後とも微力ながらお手伝いさせていただきます。要望についてですが、私は現在、本州に住んでいるのですが、室工大の知名度があまりにも低く、殆ど知っている人が居ません。勝手な要望になりますが、道外での知名度向上に取り組んで頂けると、私ども道外に住んでいる者としては助かります。是非、御検討下さい。
	もっと自分で自由な教育を行い、面白い人材を沢山育てて頂きたいです。
	卒業した時点での学生のレベルの高さ。 3年から4年になる段階での学生の知識の低さの改善（ゼミに顔を出し始めるのが10月とか、正直、馬鹿らしいです）。
	外部の講習、講師を増やして欲しい。
	学生の向学意識を高める努力を、大学としても行って頂きたい。
	学生が、何かに没頭する事が出来る環境づくり、教育を行っていく事を期待します。学生が何かを望んだ時、それが出来る環境があると、それだけで学生は成長していくと思います。
	教育機関として、先生方の意識に差があり、各授業毎での生徒の達成レベルの設定に大差が生じており、講義により単位の取り易さに雲泥の差がある事。
	基礎学力を、しっかり身に付けるようなカリキュラムで学生を教育してもらいたい。
	覚えるだけでなく、理解出来る人材の育成を期待します。例えば、微分の式の意味を正確に説明出来る人は少ないのではと感じます。仕事においても「覚える」だけでなく、「理解」し「行動」出来る事が大切だと感じます。
	他の大学に及ばない高い技術力の考案・考察。 「技術者」としての志（心構え）の教育。

問30. 室蘭工業大学に期待すること、ご意見・ご要望などがあれば、自由にお書きください。	
国際化の推進	国際化がどんどん進んでいますので、学生の語学力向上は勿論ですが、学生が、世界に興味を持つような指導を期待します。
	在学中に支援留学制度を使わせて頂き、オーストラリアに1年間留学してきたが、私を含め、私の知っている留学経験者は、皆その後の人生に非常に良い影響をもたらしていると思う。今後、そのような経験が出来る学生を一人でも多く増やす為、大学として更に推進して頂きたい。
	国際社会で通用する人材の育成や海外へ進出したい学生への支援。
	他大学に先駆けて秋入学を早期に導入する事により、本学の一層の国際化を図る。
	正しい歴史観を持った国際人を育て欲しい。
	大多数の企業がグローバルに活動するので、専門知識だけでなく、語学研修や海外留学の推進を積極的に行って頂きたいと思います。
	他の大学と比較し、語学力が足りないという評価があるので、その点の改良を期待する。
	グローバルな時代の為、英語はしっかり学ばせるべきです。仕事をしてからでは、学べる時間が殆ど無い企業も在る事を忘れないでもらいたいと思います。
語学力の強化	語学にアイヌ語を加えてはどうか。直接役立たないが、まさに地域の言葉であり、教養となるものである。幸い、白老ポロトコタン等、近くに情報源もある（最近、テキスト等も充実してきている）。北海道で学生生活を過ごした特色を持てるので、是非、検討願います。
	理系で且つ英語が出来ると、企業側からの需要があると思う。
	語学力をアップさせるプログラム。 お金が無くても気軽に海外で勉強出来るプログラム。 幅広い専門教育（電気の学生なら、機械について学ぶ等）。
就職支援改善	学生の時に就職の具体的な内容が良くわからないと思っていたので、OBや学生にガイダンス的に説明を行える時間があっても良いのかなと思います。
	OB・OG等の就職体験会等を開いて、学生に刺激を与えてほしい。地方という側面から、何事においてものんびりした学生が多く、活力が足りないように見受けられる。
	OBの体験談（就職してから思うこと、在学中にしておけばよかったこと）をたくさん行ってもいいと思います。また、就職の企業説明の時にはなるべくOBを連れてきた方が良いでしょう。
	在学中、同窓会誌に、ある先生が「女子が増えたから就職が厳しい」と言っていてショックを受けました。性別に関係なく、時代に合った就職活動の指導をして欲しいです。
	卒業生と在学生との接点が、もっとあっても良いと思う。進学や就職相談の機会を大学側で設ける等。大学からの依頼が頂ければ、卒業生も集まるのでは。
	自分には直接関係ないのですが、就職関係にもっと力を入れて欲しいです。
	就職に有利な大学。
地域社会・産業との連携	地域産業との提携を強化する等、他校との差別化を図り、独自性を強化して欲しい。学生の大半がオタクで臭いので、何とか改善して欲しい。
	地域密着の大学として、地元活性化の原動力になって欲しいです。私の会社では、室工大生の評価は高いです。是非、これからも伸び伸びと学べるキャンパス作りを続けて下さい。
	平成23年度、学生生活支援及び社会連携・留学支援の活動において、社会人博士後期課程及び留学生支援よりも、学生生活支援及び研究活動充実の為の社会連携への活動を重視する事を希望する。
	地域（室蘭）貢献。自治体、企業と連携したまちづくり。
	本学の卒業生の多くは室蘭市外へ出てしまうが、市に残っていきたい人が、希望通りに残って生活出来るような仕組みを、室蘭市の行政と連携して取り組んで欲しいと思います。



問30. 室蘭工業大学に期待すること、ご意見・ご要望などがあれば、自由にお書きください。	
本学への期待	工大でしか学べない事、体験出来ない事等で魅力のある大学になり、より活性化される事を期待します。
	単科大学ですから、スペシャリストの人材育成は問題ないと思いますが、ゼネラリストの需要が増えているので、いろいろな講義が出来るようになると良いと思います（ある程度、必修科目を増やすのも良いかと思います）。
	優秀な学生を送り出して欲しい。
	量より質。
	自分が在籍していた学科名が変更になった事が残念である。工学系大学としては、学科名に特徴のある名前を残して欲しかった。これまで以上に専門的知識が身に付くよう、カリキュラムの改革に期待しています。北大出身者に負けぬように。自分の勤務先では北大出身者が多く、出世に多少ならず影響している。
	面白い発想や突飛な事を言う学生が居ても、懐深く応援や理解をしてあげて下さい。
	これからも多くの優秀な若者を社会に送り出して欲しい。
	単科大学ならではの特色を出し、有能な人材の輩出に期待します。従来の工業分野の外に医療と工業の融合等に力を入れると、今後は室工大の存在感が出せるように思います。発展を期待します。
	北海道室蘭市と、地理的に不利があると思いますが、より良い大学になる事を期待しております。
	私は、室工大出身である事を大変誇りに思っています。そう思えるのも、ゼミで人生を変える尊敬する先生に出会えた事が大きいです。今後も私のように良い出会いが出来る大学であって欲しいと思います。
総合	①プレゼン・ディベート力の向上対策。②英語力の向上対策。③学会等、積極的な学外活動への参加。
	専門的知識を有する技術者を育成する事は勿論ですが、それらの人材の重要性、理系職の社会における地位向上となるような情報・成果の発信に努めて頂きたいと思います。
	技術のみならず、経営や法規にも明るくなるような学習、研究環境を提供出来るようになれば良いと思います。
	①4年間で勉強以外の部分での経験（ボランティア・留学等）を積みやすい環境を作って欲しい。 ②室工大でしか学べない独自の教育の確立。
	①講義の中で、社会人1～2年生の体験等が聞ける講義を設けて欲しかった。 ②パソコンに関して、世間レベルで中の上位の知識を得る講義を行って欲しい。 ③図書館に雑誌等を置いて、勉強の合間に休憩が取れる環境を作って欲しい。
	室蘭工業大学に進学を希望する高校生が増えるよう、今以上に魅力ある学校になっていてもらいたい。
	①最近、自社に入社面接（大学院生、推薦あり）で落とされている人が多いです。大学時代にプレゼンや対話する機会を増やし、コミュニケーション力を高める工夫をして欲しいです（学内に限らず、サークルやイベント等も含めて）。 ②室工大としての“強み”をつくって欲しい。学力では有名大には勝てないが、これだけは負けぬというものを持って欲しい。
	学術や専門知識は勿論の事、人間的に魅力のある人材を育てて欲しい。自ら問題や困難な事を解決する力やエネルギーのある人や特徴ある人、人間関係を上手くやれるバランス感覚のある人等、室工大の良さを活かして欲しいと思います。
	地方の三流大学が生き残り、レベルアップしていくには、特色を出すしかないと思います。国立大学というだけで「集客する力」はある程度あると思うので、学生を厳しく育てて欲しい。そこを耐え抜く事は、学生のメリットにもなるのですから。
	大学進学の際、「国立大学が良いから室蘭工大」というのではなく、「〇〇がしたいから室蘭工大」という選択になるよう、魅力のある大学になってもらいたい。

問30. 室蘭工業大学に期待すること、ご意見・ご要望などがあれば、自由にお書きください。	
高度な研究推進	<p>優秀な技術者、研究者を世に送り出し、知名度を高めて欲しい。</p> <p>独自色のアピール、基礎研究とその成果のアピール。</p>
再就職支援	<p>Uターン案内は欲しいです。</p> <p>卒業生に対する転職支援サービスの提供をお願いします。あと、ブラック会社を大学推薦させるのは止めて下さい。</p>
寮生活の改善	<p>私の在学時代ですが、学生達の学習意識が低いように感じました。もう少し、学生達が勉強に取り組めるようなシステムがあれば良いのではないのでしょうか。また、明德寮にも少し居ましたが、あそこの酒の強要や赤フン祭の強要は止めて頂きたい。好きな人はやれば良いと思うが、ただ家賃が安くて生活費を抑えたいが為に寮に入っている人にとっては、迷惑な話だと思います。大学の寮であれば、もっと大学側がしっかり管理すべきだと思います。</p> <p>寮生活を、もう少し改善して欲しい。</p>
サテライト授業	札幌で授業が受けられるようになると良い。
資格取得の強化	他の一流大学に勝つためには、資格の取得が一つの方法だと思うので、資格取得の補助を大学が行う事が重要だと思います。例えば、電気電子工学科等、電験2・3級あたりを全員取得させる等。
キャンパス改善	就職先が茨城県で、つくば大学に何度か訪れた事があり、室蘭工業大学との設備の違いを実感した。自分の子供、親族を大学に通わせるなら、汚いキャンパスよりも綺麗なキャンパスで4年間を過ごしてもらいたい。
図書館改善	工大図書館が、もう少し遅くまで開館していて欲しかったなと思います。
その他	道外での室蘭工大の知名度は非常に低く、母校を誇りに思った事は無い。その為、特に期待する事はありません。
	機械システムの教授・助教授・講師の増員。
	明德寮を無くさないで欲しい。
	自分が卒業した学科が無くなるのは寂しいが、新たな学科をつくるのであれば、より有意義なものを作って頂きたい。
	JABEEを導入してから、学生の学力低下が加速したような気がします。大学の（各教授が持つ）個性も失われたのではないのでしょうか。定期試験のレベルも下げる事となり、優秀な学生にはとても不幸な環境だったと思います。少なくとも勉学に力を入れている大学だとは思えませんでした。室工大の学生は一流の大学と違って天才肌の生徒はほとんどいません。ですが、伸びるポテンシャルは十分に持っています。大学としてそのことを自覚し、勉学に対し他の大学よりも厳しく取り組んでみるべきでは。会社（社会）に入ると、周りのレベルは予想以上に高かったです。JABEEが足を引っ張っては、大学も落ちていく一方です。地方の大学ですので、経営等いろいろと厳しい面があると思いますが、生き残るよう、評価されるよう頑張りたいと思っています。
生徒のプライベートや将来を決める自由を奪う教授が居るという話を聞いた。そういった教授が現れないよう、監視を強化して欲しい。また、運悪くそういう研究室に配属されてしまった生徒は、今後、研究室の移動が出来るような制度を設けて欲しい。	

<参考>問 14. 室蘭工業大学出身で良かったと思う点、良くなかったと思う点(全文)

問14. 室蘭工業大学出身で良かったと思う点、良くなかったと思う点	
問14-1 良かった点	問14-2 良くなかった点
会社で工大出身者が多く居た事。	
良い友達に出会えた点。	在学中、室蘭という地域という事もあって、他校(ほかの大学や専門学校)や企業との接点が少なかった点。
職場が、同窓の同僚や先輩に恵まれている。 在学時、道内在住の親に対する経済的負担を、他都府県・私立より掛けずに済んだ。	優秀な先輩が多く、プレッシャーを感じる。 他の事務所の先輩を知らない時に失礼に感じる事がある。
私は室蘭工業大学卒業後、北海道大学大学院へ通学しましたが、決して劣らない教育を受ける事が出来ていたと感じました。また、就職後も先輩方にも恵まれ、つながりは強いと感じています。	
ゼミやサークル活動で、友人と深く交流出来たおかげで、卒業後、何年経ってもつながりがある事。	友人と遊ぶ所が多く、学業を少し疎かにしてしまった。
自立した生活が出来た事。	
OBが活躍している。	
就職に有利だったと思う。	プライベートで遊んだりする場所が少なかった。
現在でも役立つ専門知識が修得出来た。	地方の専門大学で生徒も偏っていたので、コミュニケーション能力やプレゼン能力の不足を感じる。
当時としては、パソコン・ITに恵まれていた。	総合大学でない。
職場に出身者が多く、仕事の相談等、メリットが多い。	
専門教科でデザインの勉強をし、知識が身に付いたので仕事に活かした。会社での工大出身者の評価が高かった。	
殆どの学生が親元を離れ一人暮らしをしていましたが、その中で勉学を共にするうちに、仲間意識・結束が生まれ、今、思い返しても大変良い人間関係を作っていたと感じる。	学部間での交流が希薄だったと感じる。
道内での知名度の高さ。 卒業生が多く、仕事で卒業生と一緒にいる事もあり、その際、コミュニケーションが取り易い。	最初から期待値が高いが、即戦力になるような知識を有していない点。
国立大学である点。	
OBが多いところ。公務員関係で道内だと、非常にOBが多い。土木出身者のOBの人達は面倒見が良い。	就職試験で全国的に有名な企業を受けた時に、難関私大・旧帝の出身者と肩を並べた時、ネームバリューの低さに愕然とするところ。
就職に有利だった。	
就職に強い点。	
卒業生が多く、各方面で活躍している点。	
就職先に、先輩が多く、最初の職場で直属の上司が先輩であり、今でも良くしてもらっています。	有名な建築物がもっと身近にあれば良かった。
道内であれば、まあまあ優秀な部類。 お酒にはやたら詳しくなる。	授業内容が高校授業の延長のようで、「技術」とかそんなのじゃない。非常に閉鎖的。
先生には恵まれた。	
積極的な就職支援。	
就職出来た事。	

問14. 室蘭工業大学出身で良かったと思う点、良くなかったと思う点	
問14-1 良かった点	問14-2 良くなかった点
JABEEに認定されているので、技術士の資格を取り易い。	ディベート能力を身に付ける為のカリキュラムが少なかった事。
勤務先に同窓の先輩・後輩が多く、味方が多い。	
人的財産ができた。自然の中で大学生活を送ることができたので、そういったプログラムもあってもよいと思う。	湿っぽい。単科大学なので考えがエンジニアしすぎてしまう。
現在の職場に室蘭工業大学出身者が多い為、馴染みやすかった。	
①地域に密着した大学で学べた事が良かったです。 ②興味のあるカリキュラムを学べたので、良い経験になりました。	
一人暮らしをしておりましたが、多くの仲間と出会い、今でも連絡を取り合っている仲間も多くいます。勤務地が道内ということもあり「室工大＝頭が良い」というイメージもあり、いろいろと助かっています。	親に多くの金をかけた点。
国立大である為、ある程度の知名度がある。	
①就職先の選択肢が多かった事。 ②知名度が意外にあった事。	
道内での知名度が高かった。	道外での知名度が低い点。
授業に関しては、特に不自由なく単位を取ってストレートで卒業する事が出来た。その背景には「自動車部」というサークルに出会い、それに一生懸命に活動した。その分、学業にも力を入れて、学業とサークル活動の両立を目標に、4年間バイトしつつ生活出来た事は、現在の岡山での社会人生活に十二分に活かされている。とにかく特殊なサークルではあるが、自分は自動車部に入って人生が変わった。現在も仕事の傍ら、全日本ダートトライアル選手権に出場している。	
工業大学であっても、副専門教科の講義が充実していた事。	
国立大で理系就職に有利だった。	室蘭の町が若者に魅力のない町で、遊ぶ場所が無かった。
同期やサークルのメンバーと卒業後も交流がある。	知名度が低い。
一人暮らしを経験し、成長出来た。 人脈を広げ、いろいろな経験を積む事が出来た。	田舎で人が少ない為、コミュニケーションが不足がちであった。
閑静な町で、大学が生活の中心であった為、学業には集中出来ました。物事の捉え方、考え方等は、学生生活中に培ったものが、実社会に出てからも役立っていると感じます。	やはり単科大学であった為、他大学出身者の他学部との交流の話の聞くと、室工大では出来なかった経験も多くあり、羨ましく思う事はあります。
ある程度、自由がきいた事(特に時間について)。 明德寮での人間関係の形成。	卒業研究・ゼミナールの組織を、もっとしっかりすべき。 楽しくて一寸長居しすぎた。
国立大である事。	女性が少ない事。
	①室蘭(土地)の知名度が低い。 ②ブランド力が無い。
①専門科目に力を入れていた点。 ②ゼミが役立った点。 ③就職先が充実していた点。	語学力が上がらなかった点。
北海道内の企業であれば多くの先輩達が居るので、声を掛けて頂く事が多い。	
在学中に、サークルを通して沢山の友人を得られた点が良かった。	東京に来ると、室蘭工業大学を知っている人が殆ど居ない事。

問14. 室蘭工業大学出身で良かったと思う点、良くなかったと思う点	
問14-1 良かった点	問14-2 良くなかった点
仕事で使用するJava等の知識について、他の新入社員より理解出来ていた点。	
専門的な知識に加えて、一般的な教養を身に付ける事が出来た事。	一般的な語学力(英語)を身に付ける機会があったが、エンジニアとして必要な技術的な語学力を身に付ける機会が無かった事。
就職に有利だった。	大学祭はつまらなかった。
電気電子工学科は他にはあまり無い科で、電気と電子の幅広い知識を持っていると、周りから思われる点。	在学中に各種資格を取得出来なかった(する環境になかった)。教授があまりやる気がなかった(一部、やる気がありすぎる方も居たが)。
学校推薦での就職、インターンシップ経験。	閉鎖的な生活環境で、他大学等との交流の場が少ない(世界が狭い)。また、自由応募への協力体制が乏しい。
自由。	日々の講義が無法地帯であった事。意欲的に学べる雰囲気ではなかった。
いろいろな人脈を築けた事。	工大世界で学生時代が終わってしまった事。良くも悪くも居心地が良く、積極的に外の世界と交わろうとしなかった事。
国立大という事で、就職当初から一定の信頼を寄せてもらえました。	
偏差値の割に就職が非常に良い。	
自ら意志を持って勉学に取り組む場合は、専門的知識を吸収するチャンスが多く準備されていたと思います。	対人能力を磨く活動が少ない(プレゼン・ディベート・語学)。
①国立大学である事。 ②経済的。	①エクセル・ワード・パワーポイントに関する授業があったら良い。 ②一般企業で3日間位、体験実習をしたかった。
国立大なので、家庭教師のアルバイトで重宝された。北海道内では知名度が高い。	札幌から遠く、通学に不便だった。
マイペースで生活が出来た点。	近くに大学が無い為、競争心理や焦りが無く、就職活動が遅くなる。
会社に多数の卒業生が居り、人間関係の面で助かる。	大学名のブランド力が無い。
自由がある。	周りに何も無い。
就職・転職に有利だった。	大学で学んだ知識は、会社では即戦力にはならないと思う機会が多い。
国立大学理系卒というだけで優遇される。北海道内であれば、室工大卒というだけで凄いとされる。道外に出ると大した事は無い。	
個人的には、室工大に入学してとても良かったと思っているが、寮生活・バイト・授業等で、室工大だからこそ良かったというのは無い。全ての大学に共通するものと思っています。	出身大学を聞かれても、室蘭を知らない人が多い。北海道の大学と説明すると、北大のイメージしか無いようだ。
技術系の分野では、ある程度評価が高い。	
毎年、雪が見れる。	
先生達がとても理解のある人で、恵まれた環境だった。3年までの勉強は、4年の研究の為にあるのかと理解出来た時、それまでのインプットだけだった知識が血となり肉となりだした。一応、国立出身で、頭が良さそうに思われる。	札幌や函館と違い、他の学生との交流が少ない(地理的に)。各研究室が、工大祭の参加に消極的。もっと専門色が出るようなもの出来たら良い。というか、工大祭にOCとサークル発表会をぶつけてやれば都合が良いのではないかと、在学中から今も思っている。ちょうど9~10月で、サークル発表(4月)から半年も経つし、OCは研究の事だけでなく、生の学生と接する機会でもある。理系の国立行つたのに、何で今、福祉の仕事をしているのかと言われるくらい。

問14. 室蘭工業大学出身で良かったと思う点、良くなかったと思う点	
問14-1 良かった点	問14-2 良くなかった点
国立大学である為、人材輩出には伝統がある(特定の分野では有能な諸先輩が活躍している)。その点においては自負がある。	道外の人には知名度が低い。
親元から離れて生活出来、自立心が付いた事。同じ親元から離れて生活する学生が多かったので、充実した生活を送る事が出来た。国立大学という事で、社会的にも認められている。	地方の単科大学だったので、世の中の動向、同世代の考え方が肌で感じられなかった。それにより、競争力が育たなかった。周囲で語学の重要性に気づいていた人間が居なく、社会に出て苦労した。狭い学生社会生活で、他世代や他大学との交流が少なく、コミュニケーション能力が育たなかった。
専攻した教授、他の先生方に学ぶ事の大切さを教えて頂きました。4年生になってからですので、1・2・3年に早く気が付いたら良かったかと思います。	
会社で、東京本社の人に出身大学を言う時も、国立大ですと言えるので良かった。	
良い友達が出来た。	関東での知名度が低かった。
大学寮での経験。	
良くも悪くも学業に専念出来る事。	
支援留学制度を活用させて頂いた事。その後の進学・就職に非常に役立ち、現在の業務でも経験や語学力を活用出来ている。	
学費が安かった点。	立地場所が田舎。
学生同士が仲良く、先輩・後輩問わず良好な関係で、今でも交流出来ている。 講義内容が仕事に役立っている。	交通機関が不自由。
大家さんに面倒を見てもらえ、アルバイト出来た点。	
今の嫁に出会った。	
室工大出身で良くなかったと思う点が無い。	
周囲の遊ぶ場所が少ない為、大学生生活中心の生活スタイルが送れる。	大学生活が面白くないと、大学生活が辛いものになる。
就職出来た。	社会で通用しない。知識が不足。学生のうちに、もっと実践的な応用力を身に付けるようにすべき。
一応、大学を出たという事で、求人も大卒のものが受けられたり、就職に不利な点は少ない。現在、求職中なので助かっている。	目指している方向性が卒業後に変わってしまったので、6年間の一部は無駄になってしまっているところ。
明德寮での生活を通じ、よき先輩・同期に巡り合い、自己形成が出来た事。	
メリット・デメリットを感じる事は特にありません。	
国立大学。 工業系に特化したプログラム。	事務員による不祥事。
基礎知識が出来ていたと思う。	国際社会で通用しない。
	全国的には知名度が低い為、出身大学を聞かれた時、説明するのに苦労する。
大学時代は、とにかく楽しかった。設計課題や試験・卒研は辛かったけど、アットホームな雰囲気と充実した施設(学食とか生協)があって、友達とも楽しく過ごせた。皆、近くに住んでいるのが良い。	就活に弱い。私の時はほとんど指導も無く、自分一人で頑張るしかなかった。

問14. 室蘭工業大学出身で良かったと思う点、良くなかったと思う点	
問14-1 良かった点	問14-2 良くなかった点
同大学出身の先輩が会社に多く、非常に助けられている。 先輩達の活躍について、とても良いと思う。	
①全国各地(特に道内)にはOB・OGが沢山居り、仕事上、付き合いが多くあります。その際、室工大出身という事で大変良くして頂き、仕事もスムーズに進む事があります。 ②尊敬する先生の下で勉強出来た事が、今の自分にとって最も良かった事です。	
のびのびと研究活動ができたこと。	北海道以外での大学の認知度の低さ。
ゼミの先生が良かった。 室蘭という土地が良かった。	いろいろな意味で情報が少ない環境にある。
①専門的知識を学ぶ為の教育スタッフが充実している事。 ②他大学との交流が盛んである事。 ③就職に有利(OB・OGの社会的信頼がある点)。	①語学力の向上の為のカリキュラムが少ない。 ②他学科との交流が少ない。
OBのおかげで、大手企業に就職出来た事。	OBが活躍している企業からは求人が来て就職可能だが、それ以外の企業に就職する事は、立地・知名度で難しい。
教える先生、勉強が出来る図書館と勉強出来る環境が整っていると思います。	専門的知識を、実際の物づくりで、どのように応用するかという事を学ぶ場が少ないと思いました。語学力・一般教養という意味で、海外留学をもっとしやすい環境を整備して欲しかった。
幅広い業界にOBが居る為、就職活動が非常に楽だった(自分の勤務先にも、わかっているだけで3人のOBの方が居る)。	
独特の雰囲気、伝統がある。	周囲の交通網が不便。
周囲に何も無く、学業に専念出来る。	地域、他校との交流が少ない “名物”となるような授業が無い。
道内企業の為、OBが沢山居る事。	
実習工場で学んだ実際の工作作業の知識・知恵は、卒業後も非常に役立っている。	
①専門的な知識(特に4力制御)を基礎から学べた事。 ②仕事上、出身大学が影響しているという実感は、今のところ無い。	
小さな大学なので、同じ大学出身同士で協力しあう点。他大学(規模の大きな大学)では、そういった事が感じられない。	仕事で自分をアピールする力が弱いと感じた。ある程度は努力でカバー出来るが、学生のうちからそういった力を付ける教育が望まれていると思う。
①教授とのコミュニケーションが取り易い環境がある。 ②研究しやすい環境がある。	①学外(他大学・企業等)と接する機会が少ない。 ②就職活動に力を入れている割に、対応があまり無かった。
就職を支援して頂いた事。	
札幌近郊の出身者が多く、卒業後も友人との交流が続きやすい。	知名度が低い。 就職先(推薦)に魅力的な会社が少ない。
①国立大学であり、学費が安めだった事。 ②論文を書く事で、文章を書く力が付いた事。	
就職難の時でも就職出来た事(推薦が一定以上の効力がある事)。	女性が少ないので、出会いを見つけるのが難しい点。

問14. 室蘭工業大学出身で良かったと思う点、良くなかったと思う点	
問14-1 良かった点	問14-2 良くなかった点
①北海道に在る。話題に事欠かない。 ②自由活達。本業以外のアルバイト(塾講師)で得た機会。毎日のプレゼンテーション。 ③国立である。経済的負担は少なかった。	①専門科目の単位修得が簡単すぎた。特にプログラミングは、もっと沢山触れて実践力を付けておきたかった。 ②英語教養が少なく、触れる機会も少なかった為、大学入試から修士卒の6年間で英語力が格段に落ちた。
とりあえず国立大学。	総合大学であれば、もっと充実していたように感じる。
OBとのつながり。	
教養外の分野での出会いがあった。	土地。
国立大学である為、周囲から評価を受ける。	
専門知識の習得出来る環境が整っていた事。	私が所属していた学科でだが、一科目でも成績が「不可」だと留年というシステムがあったが、その科目にのみ勉強の重きを置いてしまいがちになり、知識に偏りが出るのでではとっていた。
優秀なOB、先輩に出会う事が出来た。室工大出身の方は仲間意識が強く、仕事上でも知り合いになると協力や情報の共有等、様々な助力を頂けた。	
北海道ブランドの印象が強く、話題に困らない。	
自然の中でマイペースに勉学に励めた点。	
専門的な知識は身に付く。	1~3年の間でも、もっと外部(企業・地域)との接点を増やした方が良いと思います。
優秀な先輩方が多い。	全国知名度が低い(よく私立大ですかと聞かれる)。
今でも大切にしている友人達と出会えた事。これは、皆一人暮らしであった事、単位を取るのが大変だったので協力しあえた事が、大きく寄与しているように思う。	田舎に在るので、経験を積む事へのチャンスが少ない。似た者同士、何時も同じメンバー、狭い行動範囲等の理由により、皆、視野が狭かったと思う。
学部・専攻の専門知識だけでなく、それに伴う広い教養(環境について等)も得られた事。	語学力(英語)を付ける授業内容が、あまり充実していなかった点。
同業の他社であっても、先輩に出会うと直ぐ仲良くなれる事。	全国では、室工大の存在感はあるとは言えない事。
良き友人、サークルメンバーに恵まれた。 人格者の教授の下で学べた。 現状の生活が充実しているので良かったと思う。	一人暮らしに金が掛った。
①大学時代に始めた趣味や運動が、今でも続いている点。 ②実験装置の自作等、工学的作業が自然と出来る。	①免許や資格に関し、サポートが殆ど無い。 ②全国的に見た場合、どうしてもレベルが下に見られる。
①友人や教授に恵まれていた事。 ②実験等に対する考え方、結果のまとめ方等は、仕事をしている今でも活かしていると思うので、室工大で学べて良かったと思う。	①立地。 ②事務のごく一部の人の対応、人間性。
会社内でも室工大出身等が多数居る為、人とのつながりが広げやすい点。	語学関係の授業が少ないかなと感じた。
国立大学であり、伝統がある。	工学部の単科大学なので仕方のない部分もあるが、全体的に雰囲気は暗い。
国立だから。	不祥事が多かった。
私がお世話になった研究室に入れた事	



---

室蘭工業大学  
「平成24年度 卒業生アンケート」  
集計結果報告書  
平成24年12月  
編著：一般社団法人日本能率協会

---